

令和二年六月一日発行（毎月一回）日  
書 象 第六十八卷 第六号 通巻七五号

書 象

日本書道芸術協会  
SHO JAPAN  
設立1951年  
代表理事 藤田 正



日本書道芸術協会

2020- 6

巻頭言

書象展 上條信山先生の書の心

会長 田中節山

「書は世界に輝く文字を用いた純粹抽象造形芸術である」 これは信山先生がかつて、フランスでの講演で、フランスの芸術家たちの前で、感銘を与えた名言です。この考えから生まれた「書象」は、それまでの月刊誌「書泉」から「書象」に改名され、展覧会も第一回展から「書象展」とするとうい信山先生の力強いお考えであられたのです。次の名文は、第三十一回展図録のごあいさつです。

書はその人の形であり

形はその人の心である

古典の美しさは

古人のすぐれた心の姿に外ならない

この限りなく美しい造形の源泉を

さぐり求めてやまないのが臨書である

無数の古名蹟は星のごとく

燦然とかがやいている

その光と感動に導かれて

一步一步 あゆみつつける

歩むにつれて

さらに強く語りかけてくる

やがて扉がひらかれる

開眼である

その形をのりこえた世界

そこに我自身の造形が芽生える

書を学ぶ楽しさは

この時から始まる

貧しい作品集ではあるが

やがて古典をふまえた

現代芸術としての書が

芽生えてくる一里塚となってほしいと

念じている

〈書象展経緯〉

第一回展

旧銀座画廊 四十一名出品

第二〜七回展

椿近代画廊(新橋)

○第一〜六回展

約四十名が出品

○第七回展

小品図録刊行

第八〜二十一回展

東京美術クラブ

○第八回展

信山先生「神技」

○二十一回展

出品数 一六六名 図録刊行

○二十二回選抜展

出品数 一、二〇〇名

○二十二回選抜展

出品数 一〇〇名

会場 銀座セントラルアネックス

第二十三〜四十五回展 出品数 八五〇名

会場 朝日生命ギャラリー

○三十四回記念展 宮島詠士展

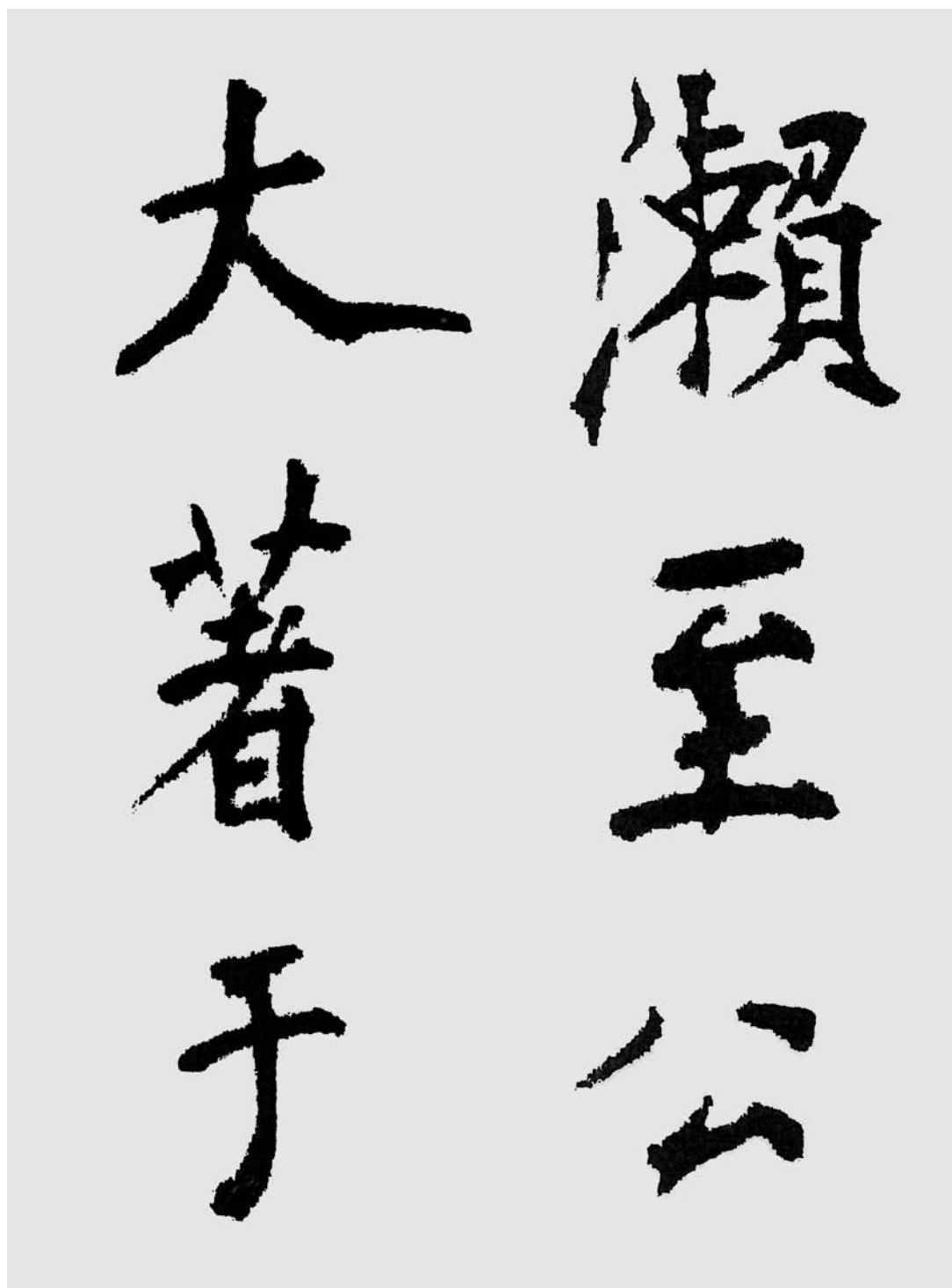
○三十七回展 信山先生遺墨展示

○四十四回記念展 張廉卿・宮島詠士・上條信山 作品特別展示

第四十六回展 国立新美術館

○五十回記念展 信山先生作品展示

○五十五回記念展 信山先生かな作品展



瀬至公大著于

6月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

行書臨書規定【臨規】（師範・準師範・段位）

集王聖教序

上條信山先生書



得も（無し）。得る所無きを以ての故に、

6月20日必着  
出品券を貼付

・文字の大小長短、字間、線の太細を意識して六文字をまとめたい。

・次の文字への筆脈に注意し、流れを出したい。

・「得」「故」は偏と旁の間に広い空間をとる。

・「無」「所」は左図参照。

得 無 所 不 得 故



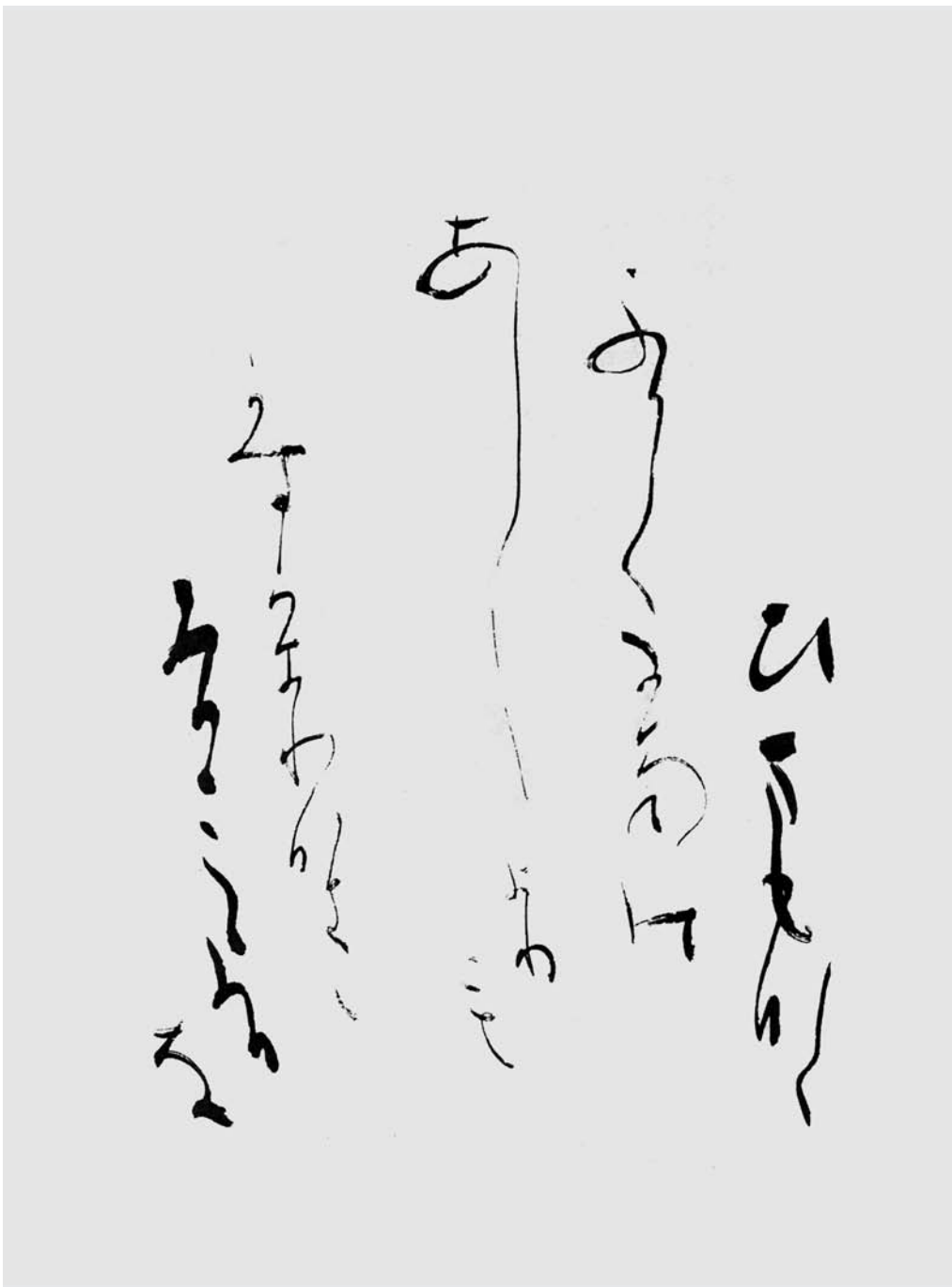
・含墨豊かに、遅速緩急をつけてのびやかな線を心がけて書きたい。

菩：横画の長さの変化に留意する。

A smaller version of the character '菩' in the same calligraphic style as the main image.

提：筆脈を大切に。縦画の長さ、太さ、方向を十分に把握して書く。

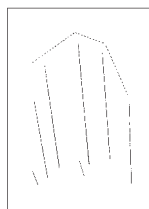
A smaller version of the character '提' in the same calligraphic style as the main image.



ひま(万)もな(那)くふりくる雨の(能)あしより(利)も(毛)  
か(可)ずか(可)ぎ(支)り(利)な(那)き(支)き(支)み(毛)が(可)み(三)よ(可)か(可)な(可)  
(西行)

6月20日必着  
出品券を貼付

・全体の構成は左図参照。中央左を広めに  
して、各行の高さに  
留意する。  
・書き出しと五行目の  
墨量を多めにし、潤  
濁を意識する。



「ま(万)もな(那)」

「る雨」

「か(可)ずか(可)ぎ(支)」

「り(利)な(那)き(支)き(支)」

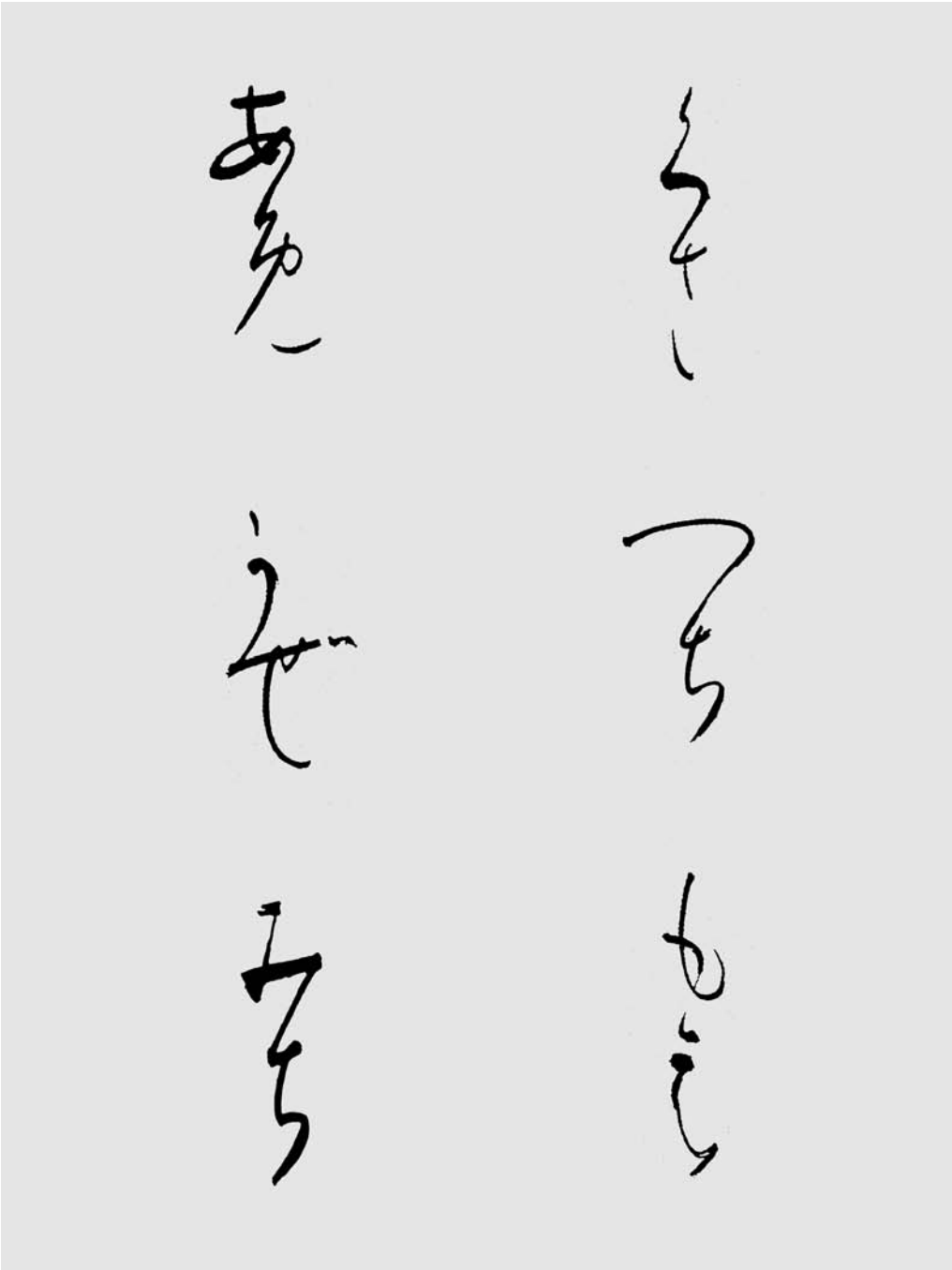
「み(毛)が(可)み(三)よ(可)か(可)な(可)」

「み(毛)が(可)み(三)よ(可)か(可)な(可)」

「み(毛)が(可)み(三)よ(可)か(可)な(可)」

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



く(久) さ つち もえ  
あめ(免) か(可) ぜ みち

- ・単体で一字の概形をしっかりと捉える。
- ・慣れてきたら二字連綿の練習をくり返す。
- ・連綿線は長・短・曲・直を意識して書く。

「く(久) さ」



「つち」



「もえ」



「あめ(免)」



「か(可) ぜ」



「みち」





芳ハ是レ香ノ為ス所ナリ  
治容ハ敢テ当ラス

6月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

※「治容」：妖艶な姿



- ・片仮名を少し小さく書いて漢字と調和させる。
- ・文字を少し傾斜させ流れを出す。
- ・含墨豊かにして鋭く直線的な線を表現したい。
- ・「治」「容」「敢」は左図参照。



天地尚不能久

天地なほ久しきこと能はず

条幅随意【条随】

樋口玄山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

歷千劫而不古若隱若  
顯運百福而長今

歷千劫而不古。若隱若顯。運百福而長今。

- ・『雁塔聖教序』の臨書。
- ・抑揚のある線を心がける。
- ・楷書ではあるが、少し行意を意識して、伸びやかに書きたい。

大青  
志雲

中学一年規定 【学毛】

山口啓山先生書

技の  
向上

中学二・三年規定 【学毛】

樋口玄山先生書

端正  
人道

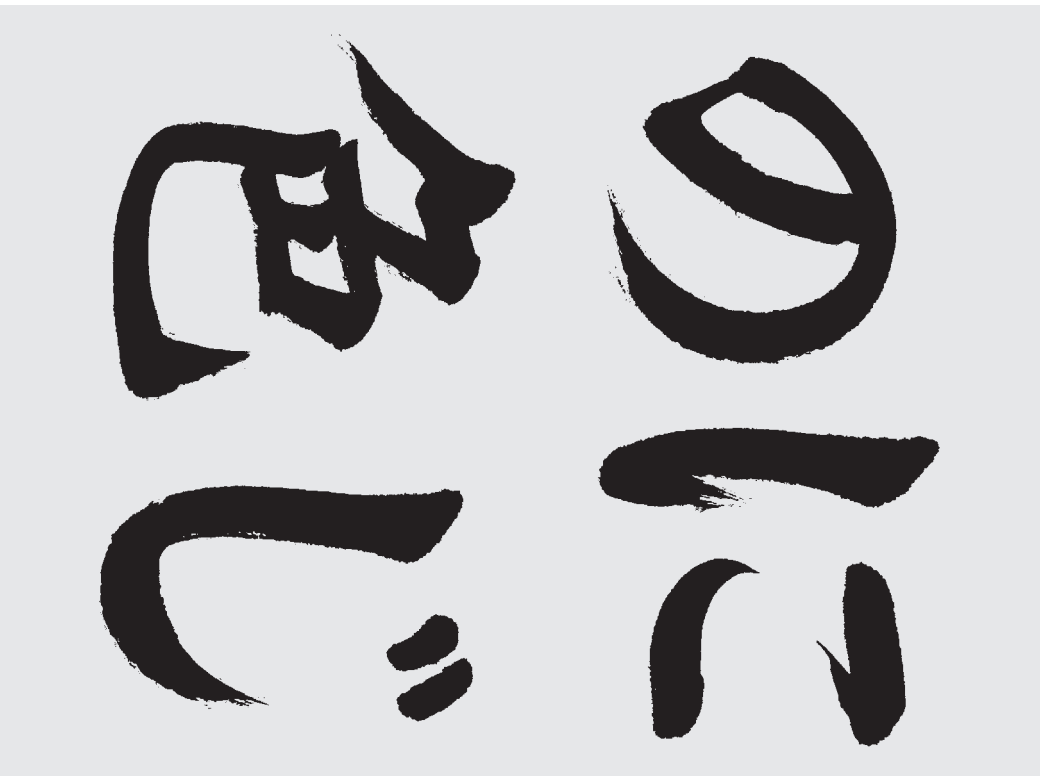
小学五年规定 【学毛】

大澤梢光先生書

決強  
意

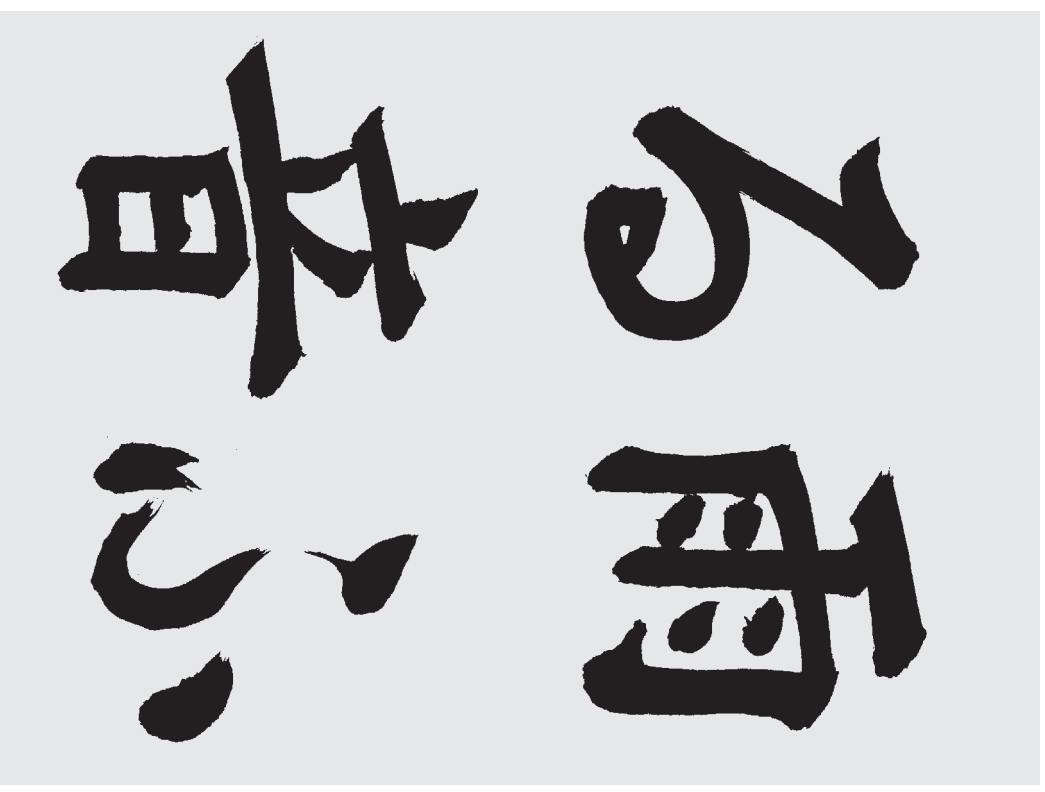
小学六年规定 【学毛】

二瓶嶽風先生書



小学三年規定 【学毛】

杉山曉雲先生書



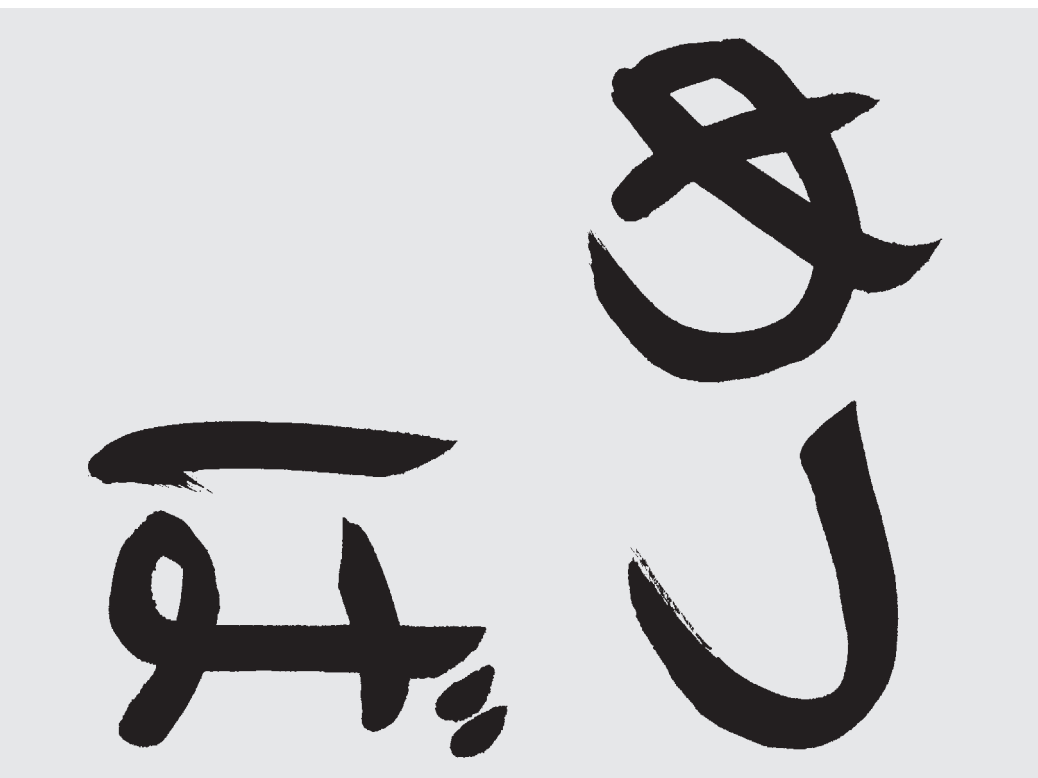
小学四年規定 【学毛】

露崎玄峯先生書



小学一年規定 【学毛】

荻田光山先生書



小学二年規定 【学毛】

藤森大節先生書

### 硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生 書

彼等ハ東洋の書といふものを東洋人の(能)趣味として、エキゾチックな美として、翫賞し(志)て(氏)いるに過ぎないようである。

彼等ハ東洋の書といふものを東洋人の(能)趣味として、エキゾチックな美として、翫賞し(志)て(氏)いるに過ぎないようである。

一般規定【一硬】(級位) 高山樗牛の言葉

内藤 望山 先生 書

天にありては星、地にありては花、人によりては愛。ふ小美しきものの最たるや

中学規定【学硬】

中村 巍山 先生 書

収穫したばかりの人参を食べた。形はいびつだが、とても新鮮で実にうまい。 支部 氏 名

### 小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。出品券を貼付して下さい。

小一・二年 学	上	小三・四年 学	馬
小五・六年 学	急行	中学	着陸

### 手本解説

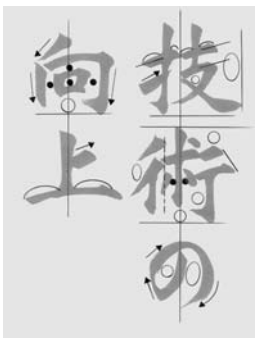
・硬筆一般規定(師範・準師範・段位)「彼等」「趣味」「翫賞」「志て(氏)」「過」は左図参照。

彼等 趣味 翫賞  
上 急行 着陸

※翫賞…芸術作品や風景などを味わい楽しむこと(鑑賞と同じ)  
・漢字条幅規定「能」「尚」は左図参照。

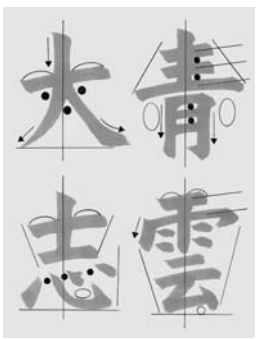
能 尚

### 学生部規定



中学二・三年

「技」の七画目は点画の調和を図りながら伸びやかに払う。「術」の「寸」は少し下げてバランスをとる。「向」の二・三画目の縦画はやや内側に向ける。「上」の三画目は最大幅にする。



中学一年

「靑」は横画を等間隔に。「雲」は雨かんむりを最大幅にして云との調和を図る。「大」は左右の払いをバランスよく書く。「志」は中心を意識し、士の横画を長めに書くようにする。

小学五・六年規定【学硬】

竹内墨洋先生書

近くの自動車工場の見学を  
して安全に対する取り組み  
を学びました。

名前 支部 年 級段

小学三・四年規定【学硬】

西野江月先生書

台風が近づいて、夏の  
海は大きな波がうちよ  
せています。

名前 支部 年 級段

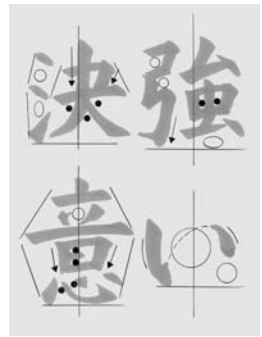
小学一・二年規定【学硬】

竹内藍山先生書

あ	に	み
め	七	え
上	い	ま
が	ろ	す
り	の	。
の	に	なまえ
そ	じ	支部 年
が	ら	きゆう

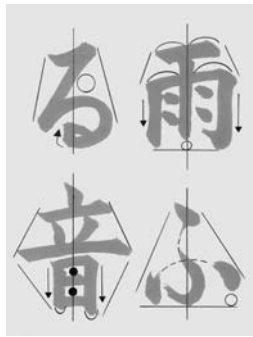
※出品券を貼付  
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の  
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。  
作品の大きさを下へ18cmよこ7cm小一・二課題↓2.1cmのマス目  
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1cm巾の罫線を引く。



小学六年

「強」は偏と旁の幅を意識し、空間が狭くならないように。「い」の向かい合う線はやや丸みをつける。「決」の六画目は二本目の横画と交わるまで垂直。「意」の心は扁平にして点画は等間隔にする。



小学四年

「雨」は点の位置・角度を整える。「ふ」の外形は三角形。二画目は中心を意識し角度に注意して書く。「る」は三角形を外形とし中心線上で結ぶ。「音」は日の縦画を垂直に書く。



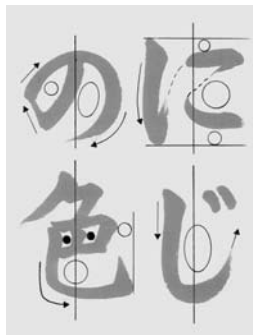
小学二年

「つ」は終筆の方向を意識し伸びやかに書く。「ば」の三画目は、結びの形に注意する。「め」は一・二画目の方向・空間をよく見て大きく腕を運ぶ。



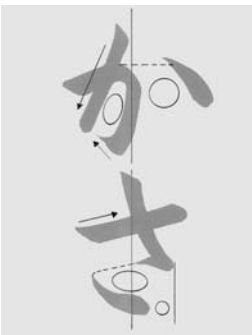
小学五年

「正」の上下の横画はややせらす。「直」の目の横画は等間隔にする。「な」は二画目の長さや角度に注意する。「人」は中心から書き始め、二画目は中心の左で接する。



小学三年

「に」は三つの点画の空間が狭くならないように気をつける。「し」は中心より左側から書き始め、「の」は中心線上から書き始める。「色」は最終画の曲がりの上部をあける。



小学一年

「か」は一画目の曲がりを中心に来るようにする。「さ」の一画目は横画を二等分し、二・三画目は角度と筆脈に注意して書く。

乙瑛碑 後漢・永興元年（一五三年）

今月のテーマ

写実的臨書  
小字（十五字以上）

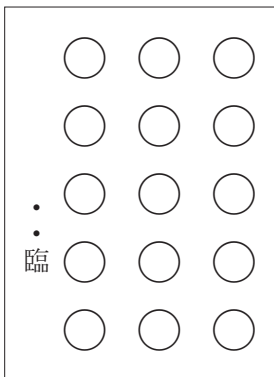


幽讚神明。故特立廟。褒成侯四時來祠。事已即去。廟有禮器。無常人掌領。請置百石（百石）一人。典。

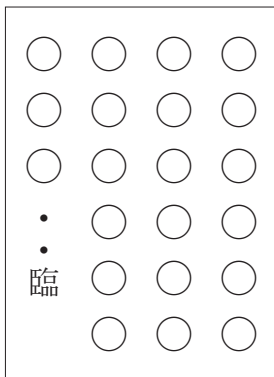
書き方

- ①文字数は十五字以上。上記の中より選んで書いて下さい。
- ②半紙は縦にして書いて下さい。
- ③落款を入れて下さい。
- ④作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）

〈作品イメージ〉



3 行例



4 行例



## 松本市美術館便り

上條信山記念展示室 令和二年二月四日(火)～令和二年七月下旬

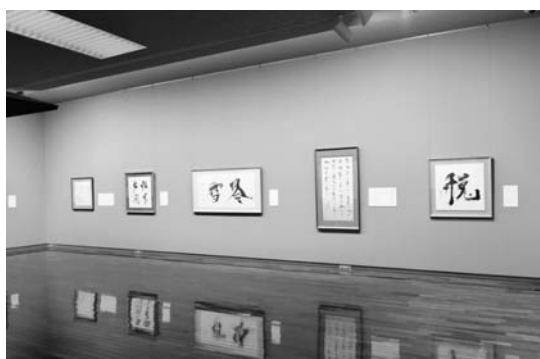
### 作品たちの晴れ舞台③

松本市美術館は、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、当面の間、臨時休館とさせていただきます。(4月20日現在)  
2月号で告知しました上條信山記念室の展示「作品たちの晴れ舞台③」が2月4日(火)にオープンして一ヶ月程で臨時休館となりました。会期は、5月24日(日)までとしておりましたが、当面、7月下旬頃まで延長いたします。今後の予定につきましては美術館ホームページにてご確認ください。

今回は、現在の展示風景を写真で紹介いたします。



入口には上條先生の揮毫の姿が



中央には全紙の「吟雪」



古絃碑(拓本)や「飛」の一字書が並ぶ



充実した解説資料

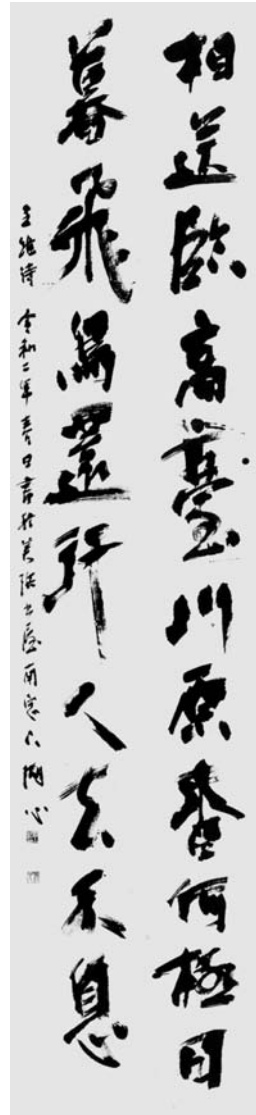


迫力ある「松柏勁心」(2尺×8尺)

# 第八十二回 謙慎書道会展 (受賞作品)

青山賞

池上湖心



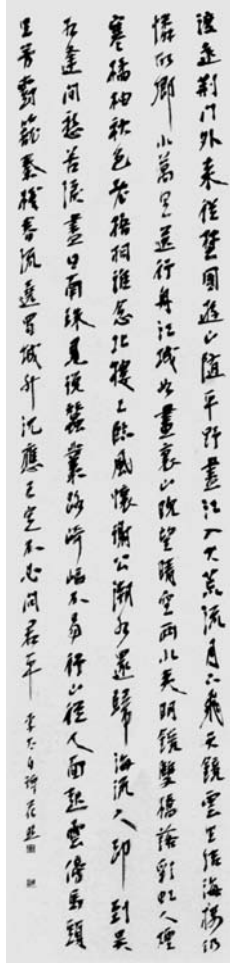
【授賞理由】

心地よいリズム感で自由な運筆と生命感に富む秀作である。特に余白の美しさに目を引かれる。文字間と行間の余白が響き合い明るい作品として印象に残る。加えて小さく書いた落款の表現も巧みで、作品の効果を高めている。

新型コロナウイルス感染症防止の為、本展は中止となりましたが作品を掲載します。

春興賞

鈴木花照



春興賞

鈴木草影



春興賞

邊地春足らず十里一花を見ず時に及ぶ須く遊遊才心し日暮  
風沙饒し独遊終に醉し難く極く學へて後に經過す周花  
活を解て少初り侍り得多きこと無し青山黄河に飲み下有  
り長安の道古き名利の人は逢うて老ふを知り少元祥之

余語元祥

春興賞

古人臨事觀其大盛  
氣為文暢所欲言  
首城

吉田節城

推薦顧問賞

忠魂義胆  
智峰

田幸智峰

墨悲絲染詩讚  
羔羊景行維賢  
克念作聖德建  
名立形端表正

武原幽節

空谷傳聲虛堂  
習聽禍因惡積  
福緣善慶尺璧  
非實寸陰足競

資父事君日嚴  
與敬孝當竭力  
忠則盡命臨深  
履薄夙興溫清

似蘭斯馨如松  
之盛川流不息  
淵澄取映容止  
若思言辭安定

春興賞

特選謙慎賞

秋葉 景華

暮春三月 屢峽長空 所雲浮日光 雷聲怒送千峰雨 花  
 氣渾如白 和春黃鶯過水 難過去 燕子銜泥 濕不妨飛  
 南卷 蘆圖畫 哀 虛 無 只 少 對 滿 湖 東 方 萬 里 客 亂  
 定幾年 歸 腸 浙江 城 鴈 高 正 北 飛 景華

特選謙慎賞

石井 菁峰

飲馬九曲溪 遙望武夷峰 長林抱迴合 丹涯空濛浮暉  
 潭寒翠水木 皆曼容 薄游限塵務 促景尼奇蹤 緬懷紫  
 陽子 千載誰與同 瓊佩邈煙霧 石函尚遺封 羈絲怨幽淵  
 飛 薩 冒 芳 業 瑤 琴 空 流 泉 桂 枝 徒 秋 風 劉 基 詩 菁 峰

特選謙慎賞

衛藤 琴光

弥生も末の七日あけぼの、空朧とて月は有明にて光をまき入  
 るものから富士の嶺巔かに見えて上野石中の花の揃まにいつかはと  
 心はずむつらまかまじりは宵よりつとひて舟に乗りて送る舟  
 あれば前途三石皇の思の胸にふさかりて灯の巻に離別の涙をそぐ

特選謙慎賞

門脇 華杏

石室花鳴者 金内待制 月操 刀常 願 對 待 莽 竟 稱 誰 應 敵  
 兵 初 並 隊 盡 勇 敵 亦 便 車 徑 隴 月 征 旆 統 河 凡 忘 杜 魚  
 金 訊 北 徒 絲 馬 功 義 清 浦 海 曲 經 耳 滿 柏 臺 中 願 三 應 華  
 首 飲 君 震 遠 戎 明 時 弱 匪 報 常 歎 近 微 躬 華 杏

白也請無敵  
 飄然思不群  
 清新灰雁府  
 俊逸絕參軍  
 渭北春天樹江  
 東日暮雲何  
 時一樽酒重興  
 細論文 梓虹

特選謙慎賞

萩原 梓虹

特選謙慎賞

平野 壺桜

高閣遙臨天壑飲近日懸峰同萬井對松蒼五陰墮檻  
外低峯嶺牒中小渭川早知清淨理常願奉金仙不擇  
南州初高堂有老親樓臺重登氣邑里難斂人海暗三  
山兩花明五嶺暮此鄉多寶玉頂勿厭清貧重枉

特選謙慎賞

松岡 馨秀

朝辭白帝彩雲間千里江陵一日還兩岸猿聲啼不住輕舟  
已過萬重山洞庭西望楚江分水盡南天不見雲日落長沙  
秋色遠不知何處平湘君雲想衣裳花想容春風拂檻露  
華濃若非群玉山頭見會向瑤臺月下逢 馨秀

特選謙慎賞

山口 芳節

溪頭望春：色深美人不見勞予心綠波渺：向南浦  
卷畫樓臺芳對陰天涯滿目丹青障 春日昏花雨搖漾  
翡翠蘭宮不可思鴛鴦桂對長相望相思雲路遙金塘  
流水亂春潮採菱風急桂舟晚疑是當年揚子橋 芳節

特選謙慎賞

山田 白葉

特選謙慎賞

吉田 煌扇

徑暖草如積山晴罷更繁篔橫一川水  
高心數家村靜憩鷄鳴午忘尋犬吠昏  
歸來向人說疑是武陵源 煌扇



《褒状》

二二一名

岡田映華 小笠原陽麗 大前琇峯 大野沙春 大川美佐子 大石慈宝苑 遠藤李雪 遠藤翠雅 榎谷華詠 内田名芳 上原白麗 岩佐千苑 今井泰桂 今井青葵 井上葉楓 井上珠杏 井原清光 石橋安夫 石田歌節 池田青泉 生野麗玉 井口碧瑤 飯島遥光 有馬萌禾 浅木葉艸 赤井游恵 青木由光 相原憧光 相木繪静

佐藤窓心 笹森光蘭 酒井秀岳 齊藤泰城 是常麗陽 小森晟玉 小林晴香 小林華蓉 小林礼佳 越谷風節 小嶋静幸 小暮華慶 栗原幸幸 熊田谿峰 清野篁舟 清兼実紅 北川有美 木内日出子 川原壽石 川上優華 柄澤憧月 上條喜游 金澤節雨 門脇華怜 勝木芳江 柏崎とみ枝 鹿島未華 小沼宗心 落合江水 尾崎光美 小川葦仙

館野鳳節 武田節峰 竹下惠月 竹内なお美 竹内多喜子 武居静寿 滝瀬加代 瀧口響山 高村名琇 高松康清 高橋直子 高田花庭 高城優節 染谷桃雨 染谷華祥 宗尾玉栄 妹尾睦子 瀬野鶴汀 関根祥節 関根虔山 関根花遥 住吉美佐子 鈴木湖堂 杉山輝光 菅原彰月 清水麗艸 島田夕節 島田悠子 篠田秀水 穴戸桂春 佐藤里美 佐藤津弥子

平吹純子 平林泰空 半田珠水 針田玲玉 林佳奈 林玲蓮 早川静恵 花田幸恵 長谷川翠玉 橋本紫芳 西野凜心 西崎未央 中山桂舞 中村春桃 中溝映祥 長戸智見 中谷友節 永井麗扇 鳥山敬風 虎本溪風 富沢智恭 寺脇浩子 寺島由静 寺澤春清 土屋蓮舟 土屋寶春 土屋さおり 長南玉袖 田村由美子 田中麗竹 田中秀征 田中孤芳

山田栄紅 山田敦子 山口紀光 柳澤逸葉 森京琴 森真花 百瀬涼香 茂木篁心 村本麗穂 務台泰煌 宮入杜心 三藤紫麗 美濃部節琥 溝口道幸 三浦五福 三浦明桜 丸山欽造 間宮花穂 真殿粹心 松澤翠葉 町田輝子 真島玄穂 牧田愛鈴 本多智寿 堀米康峰 堀米葵翠 古河松菜 藤森皓草 藤本静川 藤本圭川 広瀬幸朋 藤音圭朋 藤里幸朋 藤里幸朋

西山夢橋 西山藍香 豊原瑠里香 寺尾翰舟 田村一紅 田鍋隆行 田中光瑶 高橋真実 スミス由貴 渋谷啓風 佐藤威一郎 五島千春 越川登志子 桐原松雅 河合真未 加藤穂乃香 笠原浩代 海津珠苑 圓藤和子 猪俣美保 井上悠水 稲岡栞 伊勢崎みどり 泉さらら 石川禮月 飯島綵舟 吉村珠久 吉田真理子 吉澤静鶴 吉岡光揺 山本桂富 山本真菜

峯岸真一 南江葉 増田享月 服部悠仙 長秋雲 恒松宏美 田中蓉風 多賀谷葉子 高森紫紅 高田倫 神崎蕙心 唐津由香里 大橋霽明 浦野衣美 猪股有芽 和田彩香 六波羅式部 山中笑華 山下大造 山岸瑞竹 八木祐介 宮島節子 宮下季翠 丸山弦象 松永梅光 松井佑菜 本間藤花 古屋緑春 降幡宗風 福田九珠 廣中千鶴 平野里清

《褒状》

十二名

《入選》

八名

山田純寧 村田連理 東岡胡桃 黒木花音 木下千鶴 岡本紗弥 北岡実乃理 神林桃子 萩原日和 檜崎帆夏 鈴木結衣 鈴木心馨 酒井美亜里 小山下栞奈 小野実衣菜 小倉愛加 石田雛子 永濱和步 田中彩奈

# 第48回日本の書展 (本会関係出品者)

## 《東京展》

会期 令和2年6月11日(木)～21日(日) (16日(火)は休館日)  
会場 国立新美術館(港区六本木)

現代書壇代表(巡回)  
市澤静山 田中節山 内藤望山

○委嘱  
山口啓山

○招待  
荻田光山 大澤梢光 恩田静月 無木珠紅 久保研山 小山春聲 鈴木花照

関 香風 竹内墨紗 田中珠光 寺尾碩雲 成瀬恵苑 樋口玄山

藤岡月華 松田幼山 宮本耕成 柳澤玄嶽 渡辺華雪 橋本桂雪

○秀拔  
青木椋華 青柳緑水 安藤棲嶽 大島敏山 小泉壺藍 日比野照悦 小林貞月 小室墨江

齊田昌節 塩川冠峯 杉山窓影 中内真意 橋本幸楓 柳澤雪葉 大塚哲峰 畔原小霞 福山京江

藤森大節 松尾小光 松本小光 小野瑠光 柳澤雪葉 大塚哲峰 畔原小霞 福山京江

池口聖嶽 衛藤琴光 榎本壺清 榎本妍象 小野壺水 上條哲山 小島紫草 坪田泰舟 森 晨英 藪内光葉

児玉葉雪 小林皓山 中堤春里 平川華凜 三沢泰仙 森 晨英 藪内光葉

中田秀麗 長田詠李 余語元祥

○公募臨書入選者  
前期 令和2年6月11日(木)～15日(月)  
青木響泉 岩沢秀庭 上田探花 大井沙雪 片山邀月 熊坂吳碩 佐野紅流

鈴木蘭光 鈴木蘭光 鈴木蘭光 鈴木蘭光

《関西展》  
会期 令和2年5月2日(土)～4日(月・祝)  
会場 マイドームおおさか(一・二階展示ホール)

○招待  
会期 令和2年6月3日(水)～7日(日)  
会場 愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階)

○秀拔選  
藤澤珠玉 木内理映 松井小漱 久保田珠悠 吉岡蒼風

出来華泉

○招待  
日比野汀華

○秀拔選  
長谷川石心 今井翔山

## 《中部展》

全国書美術振興会「日本の書展」より  
新型コロナウイルス感染症予防に伴う公共施設の休館により、関西展は中止となりまし  
た。中部展・東京展・九州展の会期直近の時期または会期中に、政府・保健所等の専門  
機関・美術館より、美術館閉館措置、イベント中止や規模縮小の要請や指示が出た場合  
には、展覧会の全会期または一部会期、開催披露祝賀会、ギャラリートークを急遽中止  
とすることもありますので予めご了承ください。急な中止については、当会ホームページ  
にて速やかに公示いたします。

# 第51回全国学生書道展上位入賞者速報

## 信山先生 記念賞

廣瀬 早穂  
井伊 彩月

## 日本書道芸術 協会大賞

大山 綺夏  
進 美優  
清田 波琉  
鈴木 心馨  
笹嶋 裕音  
寺島 梨香  
小林 優梨香  
百瀬 まゆ  
林 澄恋  
館澤 穂  
牧野 莉子  
鈴木 莉彩子

## 日本書道芸術 協会準大賞

古賀 大雅  
濱野 葵衣  
木村 優月  
菊地 霰  
金井 亜梨沙  
坂口 菜々子  
関屋 嶺桜奈  
榎谷 あやか  
岩村 芽依  
井口 愛理  
山本 優衣  
清水 麻央  
増田 健吾  
金子 さくら

## 全日本書道 連盟奨励賞

和田 蒼葉  
田中 彩奈  
鈴木 結衣  
小川 明瑠  
永石 咲季  
鈴木 麻理奈  
薄井 愛奈  
阿部 桜乃  
宮田 帆乃果  
下山 花凜  
廣瀬 俊哉  
山田 悠菜  
畑 ひより  
岸田 悠  
塩谷 華怜

## 推 象 賞 薦

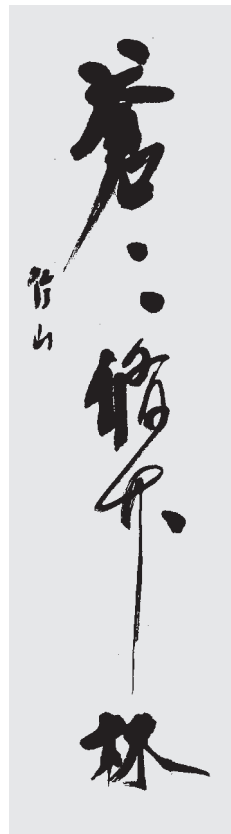
黒田 千尋  
佐藤 美欧  
中本 美咲  
大坪 千紗  
成瀬 明日香  
岡本 優奈  
大内 麻衣  
工藤 愛明  
山口 なる  
小笠原 董  
川島 実佳  
小倉 彩  
大河内 結子  
小倉 愛加  
酒井 美亜里  
東 真緒  
有賀 心結  
高須 千鶴  
前原 寛太  
齋藤 百花  
関口 晴音  
長谷川 琴羽  
田中 葵  
長谷川 舞  
林 星來  
高橋 澄  
神林 桃子  
黒田 千尋  
菊地 あのね  
真道 陸  
横田 彩夏  
八巻 美菜子  
西澤 美菜子  
小松崎 かほる  
小野 麻織  
新田 春花  
倉科 夏純  
杉山 佳乃  
川瀬 桜子  
松井 佑菜  
大川 めぐみ  
李 奈菜子  
伊東 真緒  
有賀 心結  
木下 千鶴  
高須 亮太  
田中 あかり  
藤生 麗南  
郡司 吟紀  
飯田 吟奈  
南保 葵音  
鈴木 清加  
片岡 美春  
井上 菜々子  
大矢 有紀  
秋田 輝帆  
北川 乃果  
安陪 姫来  
横野 夢乃  
土井 和葉  
青木 琴希  
小川 優希  
高崎 心粋  
月待 友希  
久井 萌夏  
佐々木 麻衣  
羽坂 美袖  
高畠 由香

神崎 沙和  
柳田 梨華  
岡本 真妃  
岩佐 夏弥  
高橋 理彩  
山下 紗和  
長澤 真珠  
館澤 真珠  
井村 友香  
丸山 ひかり  
中山 七尾  
河合 野乃  
齋藤 可奈英  
平方 麻白  
中島 彩乃  
宮川 友花  
鈴木 優希  
大角 地麻璃香  
長谷川 舞香  
宇治橋 志彦  
藤田 陽菜  
鈴木 理仁  
平垣 優  
加賀谷 心絆  
染谷 莉奈  
務台 敦也  
長谷川 美杜  
高橋 大和  
熊田 虹大  
佐藤 璃乙  
青木 陽平  
坂本 陽平  
清野 莉愛  
成相 心  
岡井 優菜  
大木 花菜  
七寶 薫子  
蟻塚 来実  
紺野 朱茄



書象会通信条幅研究会課題の解説（令和二年五月～七月まで）

信山流



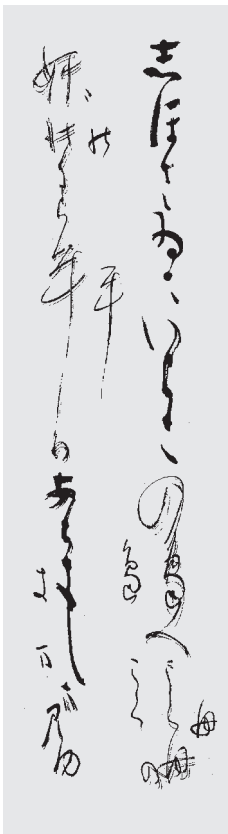
連綿のある一行課題です。  
墨をたっぷりつけ一気に仕上げましょう。  
蒼…文字の中心より右に「口」を書く。  
「口」の下、右なめの位置におさめる。  
脩…ニベン隣の隣り、縦画の間に見える僅かな白の部分、これは大切です。  
竹…腕を使い、脊から一気に「脩」字の幅と同じ横幅で書きすすめる。  
林…最後の「林」は安定よくゆっくりと書きおさめるが重くならないようにする。  
これらのことに留意しながら練習を重ねてみましょう。

隷書



今回の課題は、横画の学習に最適です。平行・等分割に気をつけます。ただ一本の横画に微妙な変化があるので、その点に留意して運筆してください。  
白…一画目を文字の中心に置き左右のバランスを取る。  
雲…一画目を一番長く運筆し「雨冠」を強調する。  
抱…一画目と五画目の横画を同じ高さにしてバランスをとる。 図示参照。  
幽…中心の縦画に對しやや右側の空間を広く取る。 図示参照。  
石…三本の横画を平行等分割に運筆し中心に對して左右のバランスを等分にする。  
※筆の入りを図示しましたので参考にしてください。

仮名



「しほさる」と「あらか」に十分な含墨があり、潤渾の変化の美しい手本となっています。カスレの部分は、筆が開き割れるのも意に介さず大胆な運筆で書き進め線表現の効果を上げています。いきなりこの通り書くのは難しいかもしれませんが、一字一字の正確な形を繰り返し練習し、自分の手に形をしっかりと覚え込ませた上で一気に書いてみましょう。

# 正師範紹介

感謝



サン支部  
井野美砂

この度は正師範の認定をいただき誠にありがとうございます。小学低学年の時に姉が楽しく書道教室に通っているのが羨ましくて始めた書道でしたが、それから三十年以上、これまで書道を楽しんでこれられ、更に正師範の認定をいただけるのは丁寧で親切な指導をして下さった戸塚先生のおかげだと感謝しております。なお、学生時代に戸塚先生と一緒に指導いただいた戸塚先生と後藤先生にも感謝しております。これからも頑張って書道を続けていきたいと思えます。この度はありがとうございました。

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

特待生になって



宝春支部 中三  
土屋智紀

私は小学一年生のときから書道を始めました。始めたばかりのころから特待生試験合格を意識していたため合格したときはとてもうれしかったです。今までご指導や応援してくださった方々に感謝したいです。支部長先生より一言 幼い頃から念願だった特待生合格おめでとう。これからも頑張って続けていけたら幸いですね。

二冠目標達成



湊支部 中二  
花岡侑奈

部活があったり、うまく書けなかったりと大変なこともあったけれど、休まずに通い続けた成果が出て良かったです。今回、ずっと目標にしていた二冠をいただき、とても嬉しいです。これも先生方のおかげです。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。真剣に取り組む姿勢があり一回で合格となりました。今後の活躍が楽しみです。

夢への物語



御代田支部 中二  
土屋心愛

小学二年生から始めた習字、やっと「特待生」になりました。これは、支えてくださった先生、家族、共に頑張った仲間のおかげだと思います。本当にありがとうございます。これからもより良い字を目指したいです。支部長先生より一言 夢にみて頑張った特待生が現実となった時の喜びの気持ちを忘れずに、これからの人生に活かして下さい。

結実



山愛支部 中三  
長谷川舞

賞状と盾の重みが身にしみて嬉しかったです。中学受験の一年のプランクが大きくて、苦戦した時期もありましたが、佐藤先生が遅くまで見てくださったこともあり、念願の特待生となりました。感謝です。支部長先生より一言 納得するまで書く姿勢は、いつでも力になると思います。これからも様々な事に挑戦して下さい。

感謝



湊支部 中二  
田村 澤

私は、二度目の試験で特待生に合格できました。一度目の試験の後、声をかけて下さった先生方や友達、書道を始めのきっかけを作って下さった母、支えてくれた人達がいたから達成できた感謝しています。支部長先生より一言 合格おめでとう。納得ゆくまで取り組んだ努力の賜物です。この経験をバネに硬筆も挑戦して下さい。

心が落ちつく時間



湊支部 中二  
藤森靖珠

書道を始め八、九、十、十一、十二と書いてきた字も次第に楽しくなってきた、心が落ちつく時間となりました。これまで、細かい所までご指導して頂いた先生に大変感謝しています。有難うございました。支部長先生より一言 お姉さん達に続き合格おめでとう。目標を持って努力した成果です。支えてくれた皆さんに感謝！

大好きな書道



竹華支部 中二  
三原 和花奈

ずっと目標にしていた特待生。合格できて、とてもうれしいです。しかし、ここで終わりにするのはなく、もっと練習して上手になりたいと思っています。大好きな書道これからも続けていきたいです。支部長先生より一言 暖かな家庭に恵まれ性格も穏やかで書にも真剣に取り組む姿勢が素晴らしい。これからも楽しみです。

挑戦！



御代田支部 中二  
櫻井 澤

習字を始めて六年。丁寧に教えてくださった先生、毎回、送り迎えしてくれた両親など、たくさんの人に支えられて特待生に合格しました。本当にありがとうございます。今後も挑戦することを大切にしていきます。支部長先生より一言 特待生おめでとう。お姉さんに続こうとこころ、二年の努力はまさに挑戦でした。これからも期待します。

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

感謝



若竹支部 中三

田中 葵

毛筆に並び硬筆でも特待生合格となることができ、この六年間頑張って書道が続けてきてよかったなと思います。同時に指導して下さった先生方、支えてくれた家族にも感謝です。ありがとうございます。支部長先生より一言「二冠達成おめでとう。」「継続は力なり」です。小学生は管楽・中学では部活と両立して頑張りましたね。

努力の大切さ



土筆支部 中三

高瀬 花

今回、毛筆で特待生に合格して、本当に嬉しく感じています。私が書道始めたのは小学五年生の秋で他の人より遅めでした。正直諦めていた特待生ですが、一步步努力する大切さを知り、感謝でいっぱいです。支部長先生より一言「特待生合格おめでとう。受験勉強と両立しながら念願の目標達成。この経験を今後に生かして下さい。」

特待生になって



ひまわり支部 中二

小久保 小梅

この度は特待生に昇段でき、嬉しく思います。先生にはとても感謝しています。毛筆の一字ごと違う表現には毎回驚かされ、刺激のある時間を過ごせています。これからも楽しくやっていきたいです。支部長先生より一言「カッコイイのになやか。小梅さんでないと出せない線を表現します。吹奏楽も極める頑張り屋さん!!」

特待生になって



ひまわり支部 中二

宮崎 宏美

私は小学二年生から習字を始め、六年間続けてきてようやく特待生に合格できました。それは、教えてくれた先生や送迎してくれた両親のおかげなのでこれからも感謝していきたいです。支部長先生より一言「重いラケットを握った後のお稽古には苦労もありますが、伸びやかな縦線の表現には周囲が唸ります。」

念願の特待生



有象会支部 中二

寺井 愛

小学一年生から始めて、やっと憧れだった特待生に合格し、とても嬉しく思います。今まで習字を続けてきてよかったです。次は毛筆でも特待生になれるよう、頑張っていきたいです。支部長先生より一言「おめでとう。嬉しいです。文字や絵を書くことが大好きで、友達の信頼も高く任されることも多いです。」

特待生合格



若竹支部 中三

塩川 優宗

僕は、小学生のころから習字を始めましたが、特待生になれるとは思っていませんでした。今回、合格した喜びや指導してくださった先生への感謝を忘れずにこれからも頑張っていきたいです。支部長先生より一言「書道を始め、八年、休まず努力してきた結果ですね。本当に頑張りました。合格おめでとう。」

目標達成



右文支部 中三

清水 愛奈

私は、特待生になるということを目指して頑張ってきました。上手く書けず、がっかりする時もありましたが、目標が達成できて、とても嬉しいですね。ここまで支えてくれた家族や先生方も喜んでくれてとても嬉しいです。支部長先生より一言「合格おめでとう。二冠達成できました。受験勉強の中、目標達成できて本当に良かったです。」

雨過天晴



杉月支部 中三

中山 太陽

私が特待生になれたのは、先生や家族の支えがあったからこそです。特に先生がたくさん褒めて下さったお陰で、それが自信となり、このように特待生になれたのだと思います。先生には本当に感謝しています。支部長先生より一言「日焼けした野球少年が集中して机に向かう姿は、教室の鏡でした。高校で書道を選択した太陽君ガンバレ。」

感謝



土筆支部 中三

鈴木 菜緒

小学二年から習い始めた書道。私が特待生を意識し始めたのは中一でした。ただ特待生という存在がきっかけで自然に意識するようになりました。合格した時は本当に嬉しくて宮寺先生に感謝の気持ちでいっぱいでした。支部長先生より一言「特待生合格おめでとう。粘り強くコツコツ頑張った成果ですね。高校でも更なる飛躍を期待します。」

# 少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

石峯支部 小四 柗原 苺



幼稚園から続けている体操では、口含、バツク転を練習中。縄飛びも得意なスポーツ少女です。お習字も大好きで、丁寧に大きく書くようにしています。

小光支部 高一 豊島 彩友



豊島さんは他の方々より遅く入会しましたが早く来て無心に筆をとる姿はとても美しく、非常に実力もつきましました。部活はバドミントンをやっています。

有象虹支部 小六 南保日葵



「葵音」「日葵」と素敵な名前の双子ちゃん。学校でも各クラス代表強力なライバル同士!!文武両道優雅なバレエにも通い書道も力強い作品を書く二人です。

杉月支部 中一 濱端 彩衣



家族の愛をいっぱいを受けて明るく過ごす彩衣さん。学校でも先生や友人の信頼を受け大きな紙に学年目標を代表で揮毫しました。中学生としてガンバレ。

杉月支部 中三 大橋 実和



御祖母父母。御両親の応援を受け中学生の日々を謳歌。書道も皆勤。メキメキと腕を上げ楽しく筆を持ち、机に向かいます。第二人の良き手本となっています。

飯山支部 小三 川口 眞



しっかり者の眞ちゃんです。お兄さんと空手も頑張っているとか。何事にも柔軟に対応でき教えた事はすぐ理解してくれています。これからは楽しみます。

有穂支部 小五 山縣 遥馬



プロサッカー選手を夢見る、足の速い遥馬君。いつも練習帰りの疲れた様子で教室に入ってきて来ます。でも休むことはなく、頑張っているのは立派です。

宮地支部 中一 渡辺 梨央



中学生になった梨央さんは、特待生を目標に休まず教室に通い頑張っています。部活はバレー部です。真剣に取り組む姿勢は、とてもうれしいことです。

若葉支部 中一 栗本 実紅



優しい笑顔の実紅ちゃんには迷いのないきれいな線で元気な字を書きます。そろばんも続ける頑張り屋さん。中学で忙しくなっても両立し特待生を目指そうね。

有穂支部 中一 柿澤 咲花



音楽大好きな咲花さん。四月にピアノの発表会で「グラナダ」を演奏する予定だったので、新型コロナウイルスの為に中止になってしまっただけに残念でした。

有象虹支部 中一 山本 優衣



名に相応しい、繊細なイメージの優衣さん。内に秘めた強い芯で、堂々とした作品を書き書象誌にも再々掲載も!!特待生を目指して頑張っています。

飯山支部 中三 島田 帆夏



吹奏楽部でホルンの演奏者です。明るく、さわやかでいつも熱心に取り組んでくれます。これからは音楽に書道にと頑張ってください。



△漢字条幅▽ 評 二瓶 嶽風

田島涛仙 墨量豊かで瀟洒。品格の

高い作。

清武浄山 大胆な筆遣いで気力充実の作。

美斉津嶽心 確かな線質に安定感を見る。

浅井菫風 大小長短リズムミカルな動きが魅力。

関澤劔山 用紙の工夫もあり重厚な作。

飯田天澄 真面目な取り組みでさわやか。

塩谷翠桐 素直で純朴な線が美しい。松田司峰 線太で力強さにあふれた秀作。

△条幅随意▽ 評 蕪木 珠紅

小 映 芯のある強い線で、流れも美しい秀作。

雨 虹 大胆な筆運びで堂々としていて魅力的。

壺 桜 渴筆が美しい。リズムに乗り貫通力あり。

△通信条幅▽ 評 樋口 玄山

鈴木香扇 構造を広く取り澄んだ線質、爽快感漂う。

下平成苑 自由闊達、なお重厚。理想的です。

島 谿暉 自然な流れで流麗に書き秀作となった。



基本課題

評 久保 妍山

小暮静翠 墨量豊かに書けた作品。線や結体共に佳。  
中田秀麗 全体感良く仕上げられている。この調子。  
柄澤静月 伸びやかな線でまとめた。爽やかな作品。  
小柳貞松 力強い線で雄大な作品に仕上がった。大佳。

研究課題

評 小室 墨汀

杉崎翠園 形安定し、文字の配列が整然とし見事。  
金澤瑠月 柔軟で落ち着いた書きぶりで丁寧。  
小池峰弦 端正で配置よく形、線質ともに良い。  
島村霞菫 美しい線質で結構の正確さ光る秀作。

古典課題

評 西野 江月

島 谿暉 豊かな墨量、暢びやかな線で紙面を制す。  
松尾小楓 忠実な運筆で形よく、明るくできた。  
山下木華 正確な用筆、整った形で見事にまとまる。  
高平光紗 大胆な文字構成で力強い作品。  
柄澤静月 特徴をよくとらえ、原帖に忠実な作。

武田静淑 紙面にくい込むような強靱な線が魅力的。

師範部

△行 書▽ 評 山口 啓山

霞 泉 軽妙なタッチで流れが自然。  
紗 虹 安定した運筆で作品が簡潔で明るい。  
淡 愁 流暢な作風で格の高い雰囲気がある。  
晨 英 筆度が高く日頃の努力が伝わってくる。  
夕 紅 充分な墨量と確かな造形が群を抜く。  
静 淑 素朴な線質の中に迫力をも感じる秀作。  
司 峰 大小長短を巧みに使い六文字に調和あり。  
明 桜 写実に徹して形の精度の高さが見事。



雅 幸 細部まで注意が行き届いた緻密な作。

恵 爽 スケールの大きな作で躍動感あり。

高橋太一 独自の筆法で自分の世界を良く展開した。

葉 草 大胆さと繊細さを兼ね備えた佳作。

中田皓花 余白美を最大限に生かした明快な作。

中山美恵子 一字一字を大切にしたい真摯な姿勢が良い。

雅 染 朴訥な線質で迫力に満ちている。

惜 春 円熟みのある表現は誰もをひきつける。

〈仮名〉 評 柳澤 玄嶽

島村霞菖 潤濁を駆使し変化に富み律動感溢れた。

桑野小琇 錬度の高い明快な運筆が印象的な秀作。

仲島秀峰 筆の角度良く紙面への食い込みが見事。

三沢泰仙 行間を生かして、うまくまとめた作。

小野壺水 静かな響きと清らかさが気品となった。

久保田麗香 柔軟な線質で流麗な流れを表現した。

杉本統華 構造の確かさと筆遣いの巧さが光る。

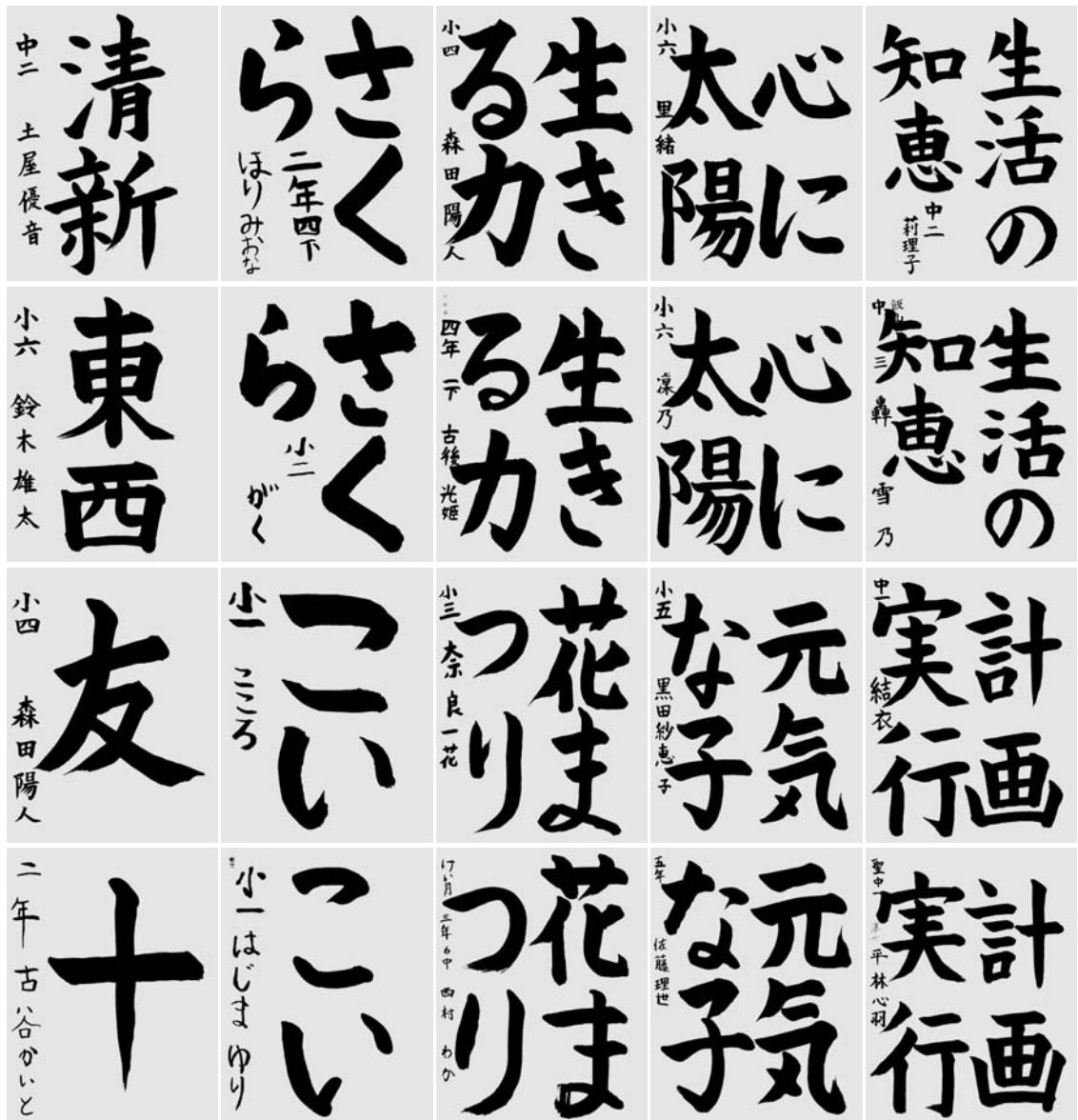
姫野千節 明るく軽快なリズムで形の正確さも見事。

三浦径石 伸びやかで強い線質で気力溢れる作。

塚原花瑠 無理のない運筆で穏やかな仕上がり。の作。

上條恵香 細部まで神経が行き届いた安定感有る作。

土屋寶春 誠実な学習態度、特徴をしっかりと把えた。



学 生 部

評 小室 墨汀

鈴木莉理子 伸びやかさと充実感がありとても良い。  
轟 雪乃 筆づかい良く大らかな作品に仕上げた。  
堂上結衣 集中して形良くまとめ立派な作品。  
平林心羽 一点一画でいねいにしっかり書いている。  
柳原里緒 落ち着いた線でさわやかに書けた。  
西澤凜乃 形良くのびやかな線で豊かな書きぶり。  
黒田紗恵子 正しい筆づかいで紙面のまとめ方良い。  
佐藤理世 ゆったりと形を整え集中して書けた。  
森田陽人 筆づかい良く堂々とした立派な作品。  
古後光姫 ていねいに形を整えて書けた。  
奈良一花 始筆がよくすべての線の書き方が良い。  
西村和華 大らかなのびのびとして元気よい作品。  
堀美緒奈 形よく線も上手。ていねいな書きぶり。  
松原 楽 ゆったり、ゆっくり、ていねい。  
玉井心彩 うでが大きくうごいて形もよい。  
羽島侑里 正しい筆づかいでていねいです。

半紙 随意

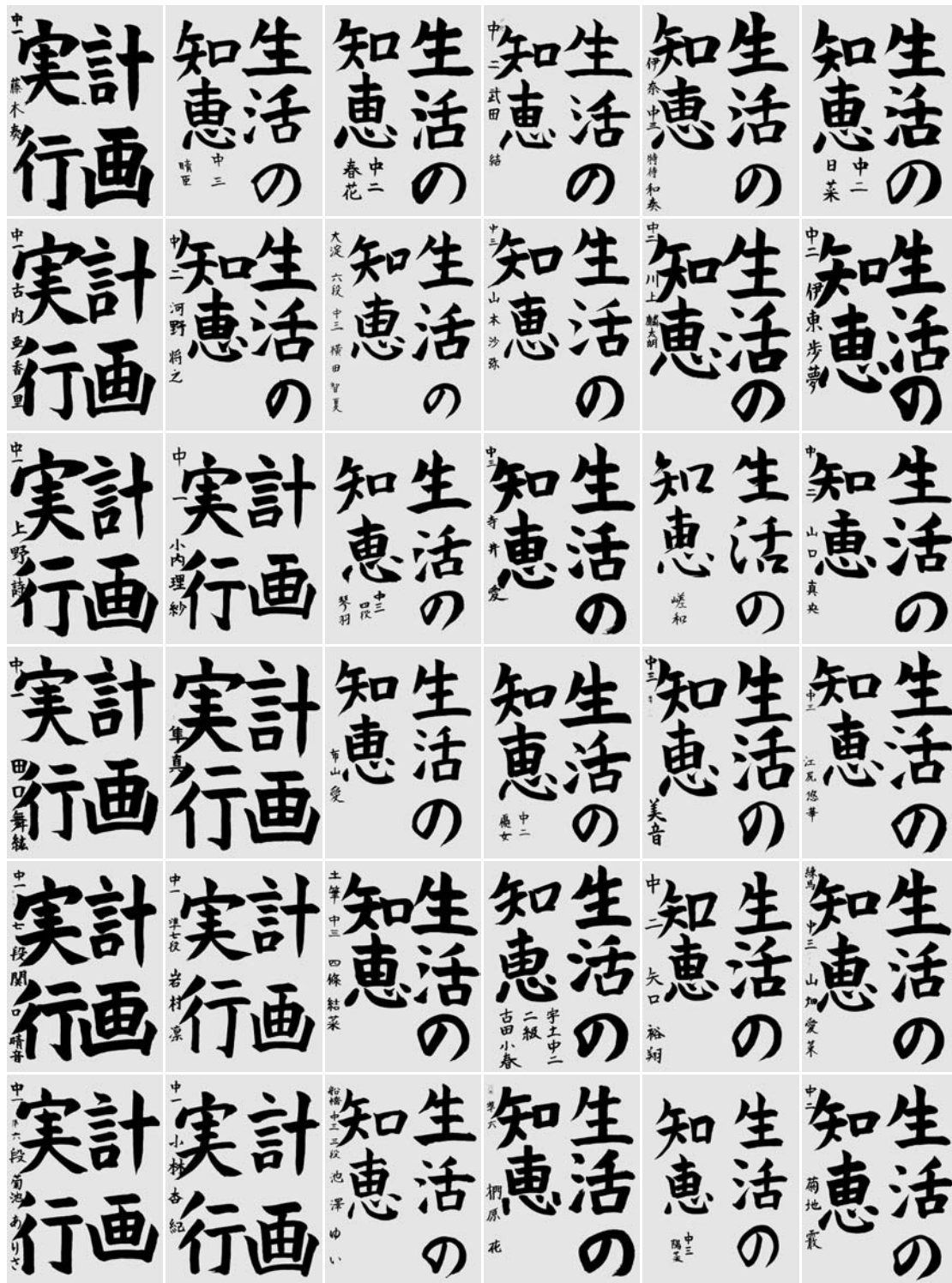
評 江上 玄光

土屋優音 筆づかい良く形も安定した立派な作。  
鈴木雄太 点画がしっかりし名前も上手。  
森田陽人 形よく落ちついていねいに仕上げた。  
古谷かいと 始筆がよくできています。この調子で。

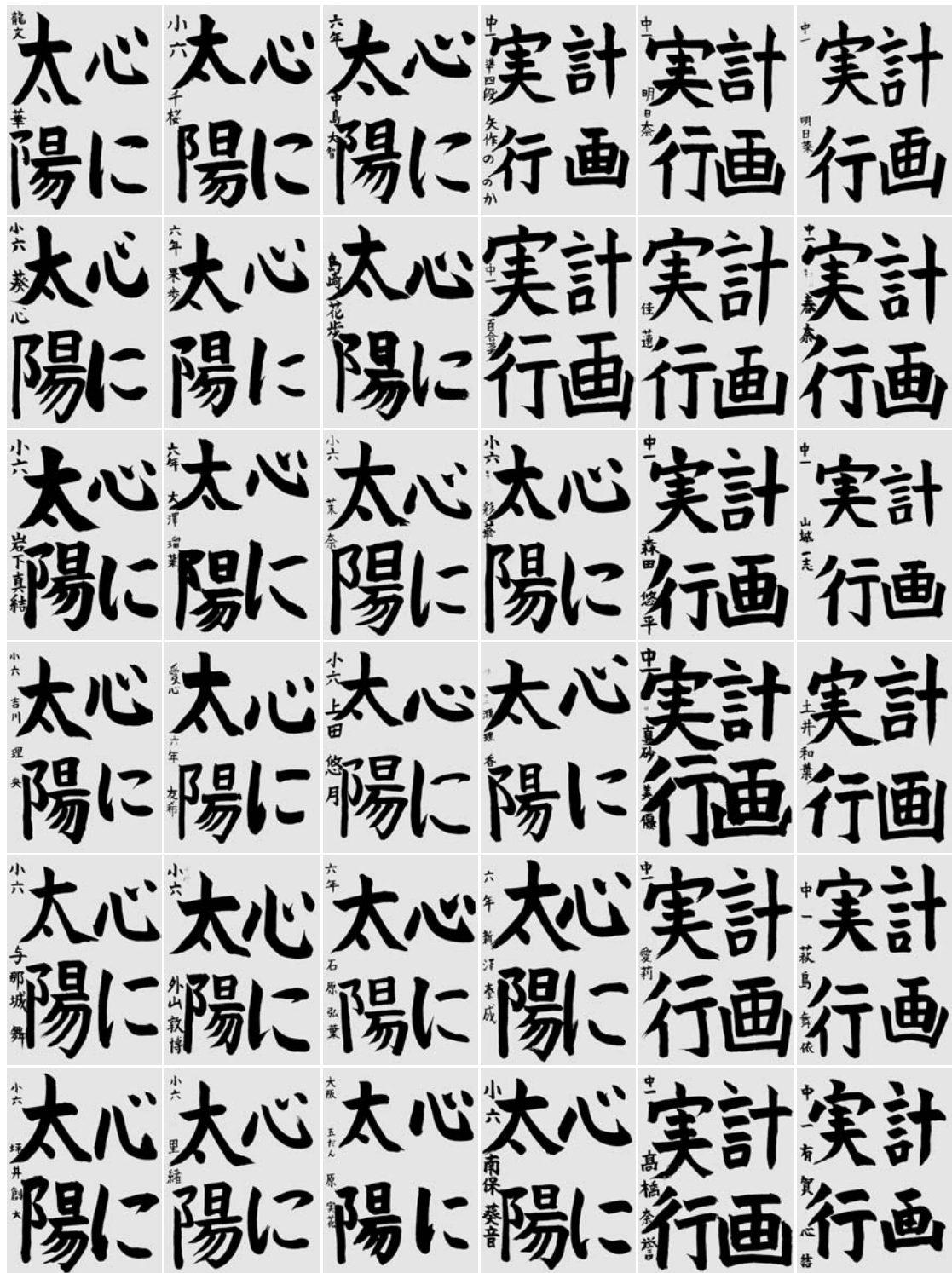
このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。



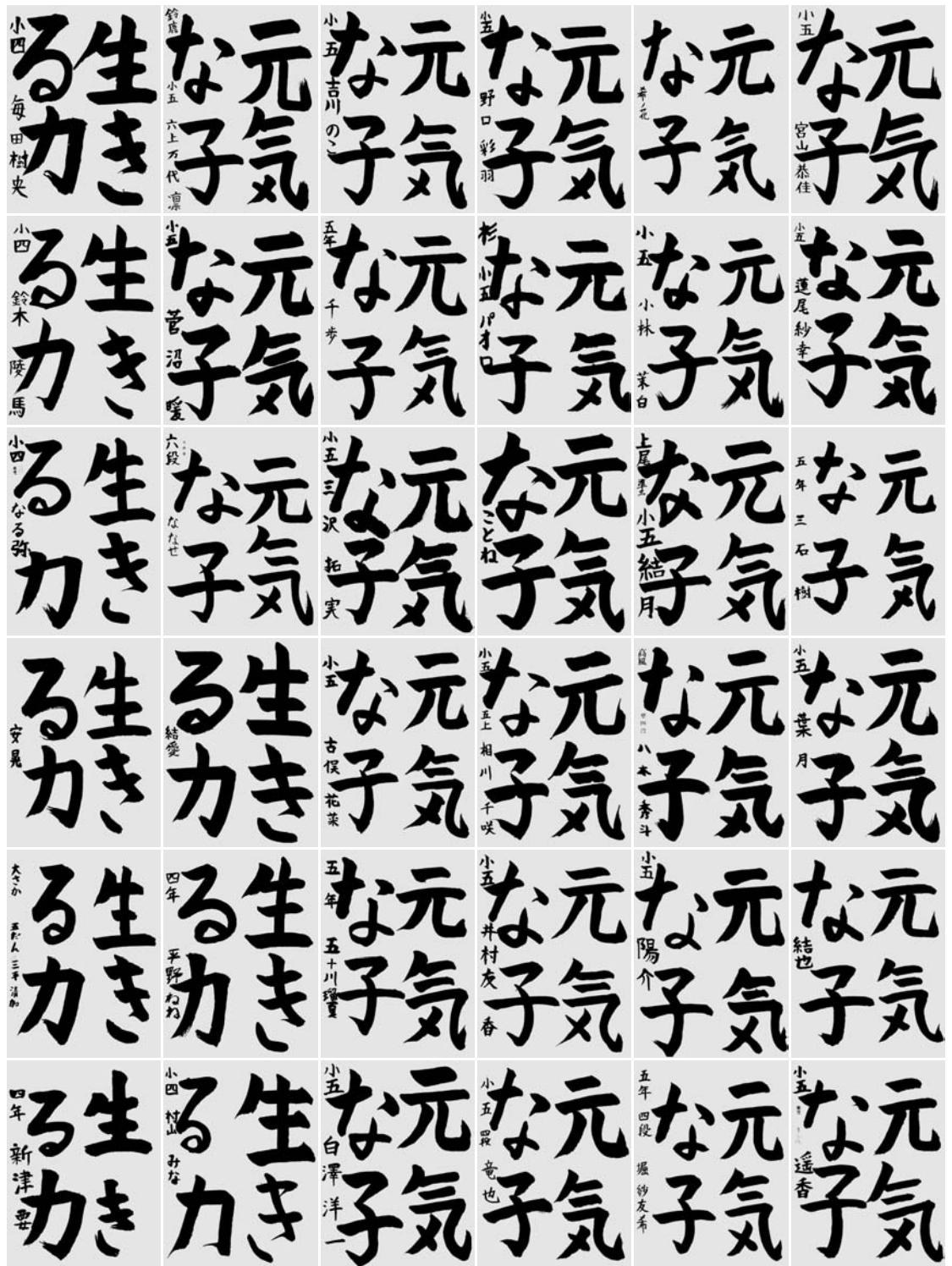

- |    |    |    |    |      |    |     |    |    |    |    |    |    |      |      |    |     |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |      |   |   |   |   |
|----|----|----|----|------|----|-----|----|----|----|----|----|----|------|------|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|------|---|---|---|---|
| みな | 名東 | 小光 | 秀雪 | (級位) | 東根 | 美那  | 八潮 | 大象 | 高風 | 華雪 | 八戸 | 柏心 | (段位) | (仮名) | みな | 承風  | 四谷 | 成城 | 玄黙 | 石峯 | 美那 | 上尾  | 一路 | 船橋 | 華雪 | 成城 | 小平 | 硯小 | 玄樸 | 長翠 | 八南 | 倭  | 秀杉 | 大杉 | 高風 | (段位) | (行書) |   |   |   |   |
| 笠原 | 山田 | 石橋 | 松本 |      | 青柳 | スミス | 齊藤 | 林  | 岩井 | 森田 | 工藤 | 合葉 |      | 笠原   | 尾形 | 柳澤  | 秦  | 猪股 | 渡部 | 浦野 | 渡辺 | 長谷川 | 佐藤 | 出口 | 齊藤 | 中村 | 岸野 | 館澤 | 高橋 | 多賀 | 中條 | 落合 | 沖野 | 内野 | 長南 | 林    | 清兼   |   |   |   |   |
| 純  | 純  | 奈緒 | 葵  |      | 裕子 | 由貴  | 照子 | 乃歌 | 和光 | 和光 | 詔次 |    |      | 恵    | 千佳 | 喜代美 | 有芽 | 衣美 | 衣美 | 衣美 | 衣美 | 映子  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香  | 香    | 香    | 香 | 香 | 香 | 香 |



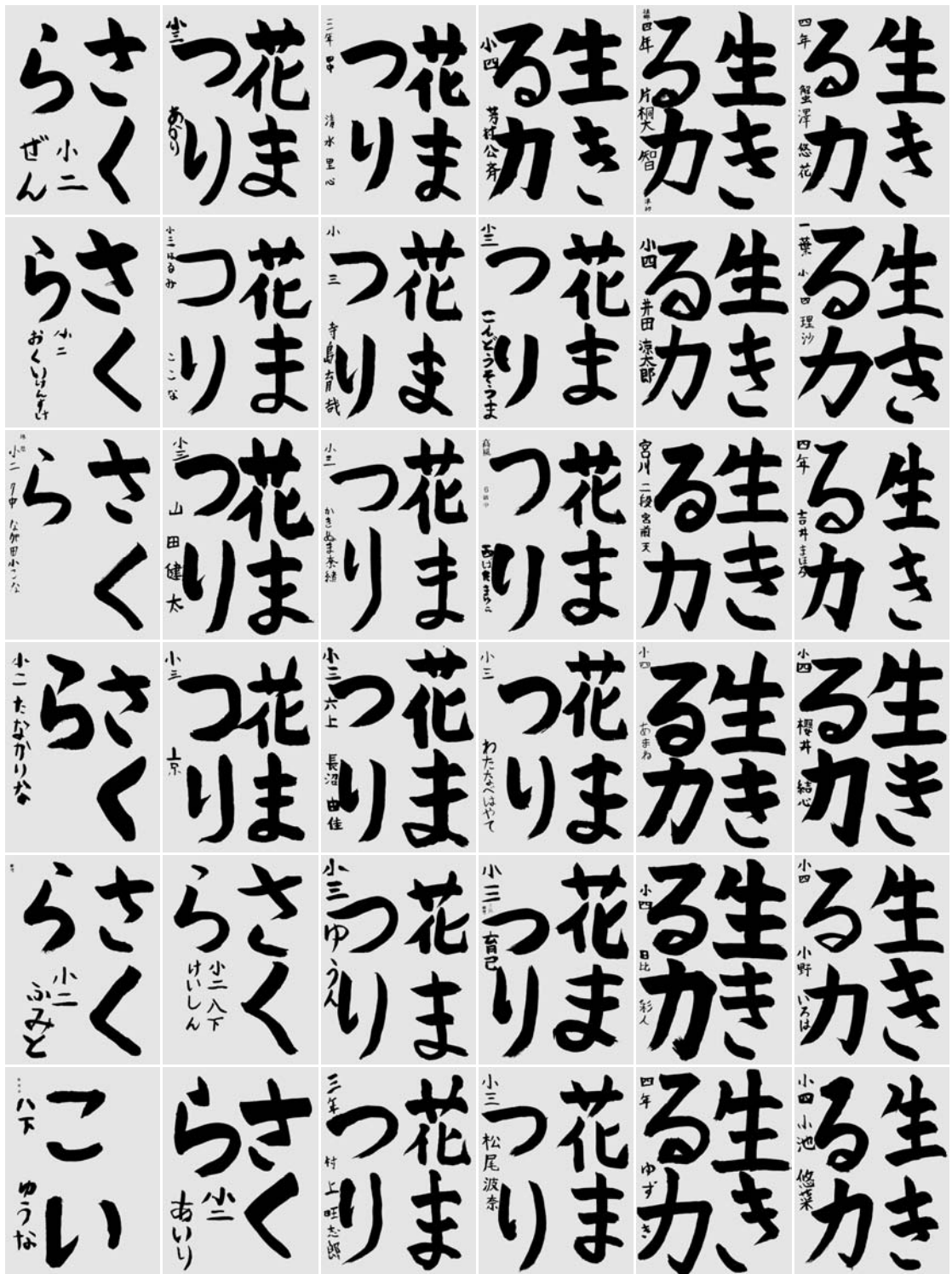
- |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |        |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------|----|----|
| 名東  | 葉月 | 練馬 | 中央 | 八潮 | 房風 | 光丘 | 皓花 | 一繪 | 湊  | 【中二】 | 硯  | この | 船橋 | 土筆 | 玄黙 | 綾華 | 大淀 | 有穂 | 石峯 | 宇土 | 仙象 | 有象 | 高社 | 中野 | 大田  | 霞墨 | 華雪 | 成城 | 秀雪 | 伊奈 | 富貴 | 練馬 | 青雲 | 百合 | 光丘 | 名東 | 【中二・三】 | 井澤 | 日菜 |
| 菊池  | 関口 | 田口 | 上野 | 古内 | 藤木 | 小林 | 岩村 | 隼  | 小内 | 河野   | 池田 | 池澤 | 四條 | 布山 | 阿部 | 横田 | 新田 | 桐原 | 鈴木 | 古田 | 寺井 | 山本 | 武田 | 藤田 | 矢口  | 笹嶋 | 中野 | 川上 | 茂呂 | 菊地 | 山畑 | 江尻 | 山口 | 伊東 | 井澤 | 日菜 | 歩夢     |    |    |
| ありさ | 晴音 | 舞紘 | 詩  | 香里 | 奏  | 杏紀 | 凜  | 真紗 | 理紗 | 将之   | 晴臣 | ゆい | 結菜 | 愛羽 | 琴羽 | 智夏 | 春花 | 小春 | 優女 | 愛  | 沙弥 | 陽菜 | 裕翔 | 美音 | 嵯和朗 | 和奏 | 愛華 | 愛華 | 愛華 | 悠華 | 真央 | 真央 | 真央 | 真央 | 真央 | 真央 | 真央     |    |    |



瑞祥 練馬 虹苑 倭 光丘 龍文 竹華 中野 愛心 大田 平成 さわ 大阪 美苑 飯田 秀雪 珠紅 さざ 有虹 この 雅 華雪 山愛 折原 若竹 凜心 星 倭 龍文 中野 長寿 霞墨 玄樸 富士 華雪 宮地  
 坪井 与那城 吉川 岩下 滝田 小松崎 柿沼 外山 鬼十 大澤 林 稲原 原 石原 上田 岸上 島崎 中島 南保 新澤 小泉 齊藤 渡辺 矢作ののか 高橋 奈塔 齊藤 愛莉 真砂 美優 森田 悠平 田村 佳蓮 広瀬 明日奈 有賀 心結 萩島 舞依 土井 和葉 山城 一志 佐々木 春奈 大坪 明日菜



- |    |    |    |      |    |    |     |    |     |      |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
|----|----|----|------|----|----|-----|----|-----|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 柏心 | 大阪 | 玄機 | 華雪   | 秀雪 | 練馬 | 蔵   | 好野 | 月   | 【小四】 | 英二 | シ  | 鈴鹿 | 中央  | 湊  | 練馬 | 照澤 | 峰  | 玄黙 | 綾華 | 承風 | 名東 | 一絵 | 杉  | 高社 | 皓花 | 花蓮 | 高風 | 上尾 | 霞墨 | 玄機 | 華雪 | 成城 | 秀雪 | 柏心 | 光丘 | 松代 | 【小五】 |
| 新津 | 三平 | 平間 | 高日なる | 鈴木 | 村山 | 佐々木 | 平野 | 佐々木 | 堀内   | 菅沼 | 万代 | 白澤 | 五十川 | 古俣 | 三沢 | 上島 | 吉川 | 藤崎 | 井村 | 相川 | こ  | パ  | 野口 | 堀  | 眞家 | 八木 | 猪俣 | 小林 | 玉井 | 中畑 | 岡田 | 篠田 | 三石 | 蓮尾 | 宮山 | 恭佳 |      |
| 要  | 清加 | 安晃 | 弥    | 陵馬 | 樹央 | 結愛  | 寧音 | 結愛  | 七    | 暖  | 凛  | 洋一 | 夏   | 花菜 | 拓実 | 千歩 | のこ | 竜  | 友香 | 千咲 | ね  | 口  | 彩羽 | 希  | 陽介 | 秀斗 | 結月 | 花  | 遥香 | 香  | 葉月 | 樹  | 紗幸 | 幸  | 佳  |    |      |



- |    |      |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |    |     |    |    |    |     |    |    |    |    |
|----|------|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 芙二 | 【小一】 | 華雪 | 霞墨 | 珠悠 | 花象 | 練馬 | 光丘 | 名東 | 【小二】 | 若松 | 須坂 | 晴美 | 蓮田 | 杉月 | 光丘 | 名東 | 竹華 | 中野 | 皓花 | 秀雪 | 華雪 | 霞墨 | 高風 | 志摩 | 【小三】 | 静翠 | 山愛 | 瑞祥  | 若松 | 宮川  | 有穂 | 住郷 | 光丘 | 名東  | 高社 | 神奈 | 一葉 | 平成 |
| 柏  |      | 信吉 | 田中 | 永田 | 奥井 | 神田 | 木本 | 大崎 |      | 田代 | 山田 | 田中 | 原島 | 村上 | 須貝 | 長沼 | 柿沼 | 寺島 | 清水 | 松尾 | 北尾 | 渡邊 | 西端 | 近藤 |      | 芳村 | 野崎 | 日比  | 岩間 | 宮前  | 井田 | 片桐 | 小池 | 櫻井  | 吉井 | 宮尾 | 蟹澤 |    |
| 優菜 |      | 史都 | 璃夏 | 小瑚 | 謙介 | 然  | 愛梨 | 馨心 |      | 京  | 健太 | こな | 朱璃 | 悠郎 | 由佳 | 奈緒 | 育哉 | 里心 | 波奈 | 育己 | 颯心 | 天桜 | うま |    | 公齊   | 柚希 | 彩人 | あまね | 天寧 | 涼太郎 | 大智 | 悠菜 | 結は | まほろ | 理沙 | 悠花 |    |    |

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
藤 中一筆七  
鹿島初葉

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

「竹取物語」は、日本で最も古い物語とよばれ、今から千百年前に作られました。  
山口わかり

- (硬筆)
- 【一般】 小光 桑野 小瑋 八潮 関根 杏樹
  - 四谷 高杉 景汀 有虹 南保 日葵
  - 綾華 広崎絵梨子 霞墨 藤崎かりん
  - 【中学】 名東 黒田 千尋 虹友 小三 坂本 由奈
  - 倭 鹿島 初菜 大田 近藤 衣仁
  - 山愛 山口あかり 華雪 土屋 誠
  - 珠紅 板谷 美幸 有象 小林 蒼空
  - この 石村七菜子 玄樸 大印千佳子
  - 【小五・六】 新城 河野 成実 秀雪 大内 菜奈
  - 土筆 栗原 心 一葉 西藤 湊友
  - 光丘 宮内 未羽 長岡 林 澄恋

競書成績

□写真版 作級  
☆秀昇

師範																																																	
小	平	京	平	富	土	花	小	蒲	書	笠	湊	中	正	汀	静	宝	美	相	長	富	妻	雅	茅	皓	若	磯	京	平	大	長	玄	美	自	文	巍														
秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀											
紅	彩	美	麗	虹	花	瑤	霞	虹	祥	慶	通	米	代	映	映	春	明	志	光	子	春	雅	雅	花	草	一	幸	爽	桜	峰	紅	淑	英	虹	文	巍													
美	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生											
翠	山	月	螢	風	玉	琳	芳	静	月	美	燈	禾	静	唱	千	幸	瑶	舟	川	悠	桐	芳	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映											
磯	若	青	土	産	房	墨	文	巍	文	玄	房	樺	皓	映	千	瀬	産	玄	産	葉	華	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩									
曉	虹	仙	麗	翠	玉	波	麗	性	帆	紗	海	嶽	雲	悅	祥	志	風	月	山	苑	駿	凌	美	玉	水	泉	江	沙	茅	聖	長	鶴	遠	菜	悠	一	秀	秀	秀										
永	日	大	晴	静	静	蒼	清	紗	祥	秀	祐	雅	嘉	頌	仙	準	江	敦	祥	美	真	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿									
文化																																																	
彩	採	快	煌	初	秀	邀	美	秀	妍	佐	統	綠	柚	啓	直	江	春	智	智	弥	石	瑞	武	飲	壯	泰	静	玉	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静										
麗	花	風	扇	泉	庭	月	苑	仙	麗	象	華	香	玄	風	子	蕙	鳳	翠	真	生	舟	月	造	一	雄	邦	静	琳	花	静	静	敬	峯	澄	華	映	静	静	静										
源	樺	八	南							富	一	小	花																																				
邑	佳	冬	俊	陽	千	重	藍	安	華	壺	礼	李	光	光	藤	樹	咲	紀	揚	佑	瑋	孝	桂	洋	訪	桂	天	素	聖	哲	み	翔	遊	頌	領	沙	沙	真	沙	知	鈴	裕	芳	萌	祥	麗			
峯	蓮	雅	珠	景	照	子	香	夫	月	笛	晶	子	風	揺	恵	花	光	光	光	光	光	翠	範	範	羅	舞	妙	風	嶽	山	子	心	節	子	泉	桜	弓	雪	春	子	華	美	月	泉	菊	爽			
華	華	華	華	華	華	珠	麗	沈	祥	蕙	詠	双	李	翠	芳	美	采	春	小	芝	淨	桂	李	輝	李	め	里	香	光	紫	立	皇	泰	直	穆	由	禮	友	征	美	游	文	泉	泰	聡	壽			
聲	容	志	秀	京	都	京	華	華	華	京	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華		
雅	雅	博	紀	壽	津	津	絢	熾	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名		
映	香	楓	子	雅	楓	照	光	柏	沈	紗	琇	琴	鳳	龍	雅	星	敬	亭	篁	薰	舟	邦	砂	草	山	春	花	紀	雪	月	竹	香	山	紅	華	琴	嘉	明	松	山	仙	溪	星	遠	州	紅	峰		
静	水	宮	地							葉		須	美	紅	玄	桐	生	松	玄	産	祥	静	右	玄	産																								
み	祥	笠	百	善	ます	知	愛	芳	美	啓	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智		
日	月	仙	八	照	美	サン	富	乙	蔵																																								
汀	皓	陽	春	照	明	久	秋	尚	青	梅	由	明	順	絹	優	花	康	榮	悠	瑞	順	楊	雪	曉	涼	香	清	奏	香	希	春	春	光	梨	完	菁	曉	志	峰	静	伊	信	青	雨	西	霞	小		
紅	草	笙	光	和	惠	子	山	葵	清	美	子	美	峰	泉	子	香	華	華	竹	子	舟	園	月	華	花	苑	子	風	扇	清	瑶	紅	風	舟	碩	翠	道	豐	弦	成	子	翠	沙	香	英	舟	映		
和	晴	三	運	詔	硯	楠	綾	芳	鹿	洞	湖	雪	晨	溪	映	珠	茜	満	耀	虔	花	瑞	南	真	宏	久	木	芳	昭	良	照	禮	明	和	佳	信	倉	壽	懂	懂	舞	泰	晟	汀	妙	晟			
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
浦	田																																																
浩	泰	泰	泰	泰	泰	彩	泰	文	花	霽	禪	純	い	壺	天	汀	絵	梅	竹	白	陶	喜	五	草	友	典	豐	夕	恭	汐	淡	西	清	晨	蕙	晴	昌	小	静	美	澄	壺	弘	子	子				
子	咲	志	亭	空	憲	帛	穹	城	乃	柚	恭	扇	天	峰	山	彩	子	登	霄	里	秀	子	心	羽	春	代	竹	梅	子	翠	山	霞	影	西	草	雪	西	雪	影	沙	紅	翠	惠	子	子	子	子		
産																																																	
秀	麗	麗	静	花	比	麗	祥	加	玄	賢	惠	整	恵	令	真	由	康	康	貞	泉	峯	琴	紅	坡	明	梗	梗	美	雲	馨	西	麗	宗	圭	雄	高	ハ	禮	千	健	明	曉	静	照	さ	典	子		
娥	陽	吟	節	庭	彩	艸	節	庭	琥	山	子	彩	子	美	子	惠	清	子	松	織	川	羽	川	玉	玉	紗	華	泉	子	水	峯	秀	光	心	苑	峰	珀	コ	え	子	子	夫	光	汀	章	虹	好	子	













Table with multiple columns and rows listing names and categories. Includes a central section titled '小・中学校の部' (Elementary and Junior High School Division) with sub-sections for '愛心支部' (Aikoin Branch), '上尾支部' (Utsunomiya Branch), '飯山支部' (Iiyama Branch), '大泉支部' (Oizumi Branch), and '往郷支部' (Wakou Branch). The table lists names like 勝木珠悠, 堀好美, 高社大, etc., and their associated categories or grades.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



Table with 10 columns and 100 rows of names and numbers. The table lists names in various columns, often with numbers above them. Some names are grouped under specific headers like '高風支部', '山愛支部', '志摩支部', etc. The numbers likely represent some form of ranking or count.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 10 columns and 100 rows of names and grades. Includes various club names like 矢島、館澤、才木、岩澤、岩澤、品川、佐藤、品川、佐藤、品川、佐藤, etc. Grades range from 準四 to 特一.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)



Table with 10 columns and 30 rows of names and numbers. Includes various entries like 高橋航, 岩田夏, 吉澤美, etc. with associated numbers and symbols.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



## 昇段級試験

### 春季 師範昇格試験 要項

## 特待生試験

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受けて昇段級試験並びに師範昇格試験、特待生試験は七月に延期になりました。

通信添削等、指導の工夫のもとご出品下さい。

### 昇段級試験

#### 出品規定

- 小・中学生  
五月号の毛筆規定  
五月号の硬筆規定
- 一般  
四月号の漢字条幅規定  
五月号の隷書条幅規定  
五月号の楷書臨書規定  
四月号の行書臨書規定  
五月号のかな規定  
五月号の硬筆規定

#### 出品料

- 小 学 生 一 点 につき 五〇〇円
- 中 学 生 一 点 につき 五〇〇円
- 一 般 一 点 につき 一〇〇〇円

### 特待生試験

#### 出品資格

・小・中学生で現在準八段の者

#### 出品規定

・小・中学生は昇段級試験と同じ

#### 出品料

- 小 学 生 一 点 につき 五〇〇円
- 中 学 生 一 点 につき 五〇〇円

### 師範昇格試験

#### 出品資格

準師範試験 一般部で準五段・五段の者

#### 出品規定

師範試験 準師範の者

#### 出品料

昇段級試験の一般部規定に同じ  
一体につき

#### ☆準師範試験

四〇〇〇円

☆師範試験 五〇〇〇円

### 出品の手続き

- 1 支部及び個人宛に要項、出品目録、師範・準師範・特待生試験受験名簿、申請書を送ります。
- 2 師範・準師範・特待生試験受験者は名簿に必要事項を記入し、作品にバーコード出品券を必ず貼付の上、共に提出すること。
- 3 返信封筒は不要となりました。
- 4 段級位の認定証は一部三〇〇円です。認定証の要のみ申請書に記入し、「要」の場合は出品料の欄に加算すること。  
(個人で認定証を申込み時は返信切手二二〇円を同封し、返信用封筒は不要)
- 5 師範の認定証は十月号発表後に申し込む。
- 6 為替・振込にての送金は御遠慮下さい。  
出品料が千円以下の場合も切手でも結構です。

締切日 七月二十一日(火) (厳守願います)

### 発表

出品者あて成績通知をもって発表にかえさせていただきます。  
師範試験及び特待生試験の合格者は十月号誌上に発表の予定。

### 出品先

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六 上條方

書象会 藤森大節あて

### 書象会 便り

#### ◆書象展審査会

第59回書象展に出品される作品の審査会が、去る四月五日(日)中野栢美において行われました。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛中のため、少人数での審査会となりました。副理事長以上の先生方による厳正な審査を経て評議員四四〇名・会員六一名・初出品四五名・高校生出品二十名の作品から書象賞・特選・秀作・褒状の入賞作品を決定、次いで大賞選考委員の審査により無鑑査会員三四四名の中から桜花賞・奨励賞が決定されました。受賞者はP22～P23に発表いたしました。

#### 《入賞・入選者数》

桜花賞	八名
奨励賞	一名
書象賞	一名
特選	三名
秀作	一三〇名
褒状	二三三名
入選	一五九名

#### ◆第51回全国学生展上位入賞者速報

去る四月二日(木)の審査会で厳正な審査が行われ、一八〇名の特別賞受賞が決定いたしました。受賞者はP24に発表いたしました。

# 第59回

# 書象展

## 特別企画 俊英選抜五人展

### 特別コーナー 第51回全国学生書道展



会 期：2020. 6. 11(木)～6. 21(日)  
 午前10時～午後6時 休館日6. 16(火) 入場は午後5時30分まで

会 場：国立新美術館 2階C. D展示室  
 〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2  
 TEL. 03-6812-9921

主 催：書 象 会  
 後 援：読 売 新 聞 社  
 公益社団法人 全日本書道連盟

会期中、本展に併催して全国学生展を予定しています。

◆「本格の輝き」読売書法展  
 読売書法展は、古典を踏まえた伝統的な書を志向する国内最大の規模を誇る公募展です。  
 入選者は読売新聞に発表され、本格書家として認められます。一年でも早く出品経験を積んで、大きな栄誉に向かって踏み出していきたいものです。公募では、古典の臨書作品が認められ、常に古典と向きあっている書家会には、よいチャンスと捉え、ぜひ参加してください。また四月一日現在、満十七歳以上であれば出品でき、指導連盟費が無料となります。ぜひ新しい挑戦を期待しています。

## 第37回読売書法展は

来年度に延期となり、まじりました  
 尚、本年度に延期となり、まじりました  
 方は、至急本部(〇四三二一五三一七九七四三)もしくは支部長先生にご連絡下さい。

※従来出品されていても、不出品が続くと出品表が届かないことがあります。今年度出品希望される方で出品表のない方は、読売書法会事務局(〇三三二一六八九〇三)へご連絡下さい。  
 (展覧会部)

◆実用講習会「信山流の書法」(基本)が中止に  
 四月二十九日(木)に予定されていた標記講習会は、新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」により中止いたしました。

- ・その他講習会について
- ・かな講習会 延期
- ・書象展期間中の行事

「学生展との連携や講習会など」「支部長講習会」「実技講習会 信山流の書法(条幅)」は中止となりました。  
 (研修部)

### ◆春季昇級段試験

五月号で告知いたしました標記昇級段試験は、既に支部長先生にご連絡しましたように、作品の締切日を七月二十一日(火)に延期いたしました。通信添削による指導等により、ご協力をお願いいたします。P.51に掲載いたしました。

### ■計報

本会特別会員の赤塚暁月先生(享年74歳)が、病氣療養中のところ二月二十三日(日)ご逝去なされました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏名	発行人 (有) 書象
	代表 上 條 節 夫
	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三二六
	郵便番号 180-0001 電話 〇四三二一五三一七九七四三
	振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一
	振替名義 (有) 書象
	印刷所 株式会社 リンクス